

# さいたま市の食育取組状況

平成27年度

さいたま市食育推進協議会

## 「さいたま市の食育取組状況《平成27年度》」について

本冊子は、さいたま市の各部局及び各種食育関係団体における食育に関する取組を把握するために、さいたま市食育推進協議会、さいたま市食育推進担当者会議にて取りまとめた資料を基に、平成20年度より作成を開始し、今回で第8号となります。

平成27年度は、『『確かな目をもって』食べる』を重点目標とし、関係団体をはじめ、地域で積極的に活動を展開している市民の方々と食育の取組を推進してきました。

### 【平成27年度 さいたま市食育推進協議会】

第1回 平成27年 7月23日

第2回 平成28年 3月17日

### 【さいたま市食育推進担当者会議】

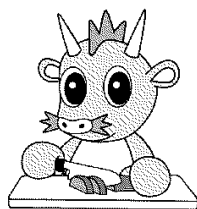
第1回 平成27年5月

第2回 平成27年9月

第3回 平成28年1月

「人間が生きていく上で欠かせない大切な“食”について、正しい知識をもち、考え、実践し、伝えていくための取組」について、さいたま市の食育を推進していくための資料として、ご活用ください。

さいたま市保健福祉局保健部健康増進課



目次	1	食育関係団体(さいたま市食育推進協議会委員)の食育取組状況	.....	1
	2	さいたま市食育関係部局の食育取組状況	.....	9
	3	各公民館の食育取組状況	.....	33
	4	公立小・中学校の食育取組状況	.....	41

# 1 食育関係団体（さいたま市食育推進協議会委員）の食育取組状況

- ・ 人間総合科学大学
- ・ 公益社団法人 埼玉県栄養士会
- ・ さいたま市食生活改善推進員協議会
- ・ 日本チェーンストア協会 関東支部
- ・ さいたま市地域活動栄養士会 バランス食の会
- ・ 一般社団法人 さいたま市食品衛生協会
- ・ 厚德幼稚園（さいたま市私立幼稚園協会）
- ・ さいたま市PTA協議会
- ・ 市民委員（大久保料理教室）
- ・ 市民委員（特定非営利活動法人 日本成人病予防協会）

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

協議会委員の所属団体名	事業名	Plan							Do			Check					
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度			成果・課題等					
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進												
人間総合科学大学	野菜の植え付け・収穫体験			○	○	◎			○				継続	その他	10名 (3回)	吉川市役所および吉川市4Hクラブの方々との協働により、畑を作るところから実施し、ニンジン、かぼちゃの植付体験を行った。収穫した野菜は、学園祭で販売し、吉川市市民祭りでは、その野菜を用いて豚汁を作り、販売する予定であった。	植え付け時期が雨天により遅れ、その後の日照りにより、ニンジンは不作であった。そのため、学園祭では、吉川市で収穫した他の野菜を販売し、吉川市市民祭りでも吉川市産の野菜を用いて作った豚汁を販売したが、大盛況であった。率先して楽しんで作業に取り組んでいたが、自然との兼ね合いで、思うように作物は生産できないことを痛感したようである。
公益社団法人埼玉県栄養士会	県産米粉を使った親子クッキング	○	○			◎	○	○					継続	その他	108名 (幼児・児童58名、保護者50名)  (4か所)	米粉と小麦粉の違い、米粉の特徴(小麦アレルギーの人にも使用できることなど)の説明や米粉を使用した料理の調理実習をし、理解を深めてもらう。また、調理実習は、親子のコミュニケーションの場としても、楽しんでもらう。 なお、会場により、紙芝居などの媒体を使用し展開をした。実施時期は10～12月。	アンケートから、普段は食べない野菜なども、食育紙芝居を見ることや、一緒に作ることで、進んで食べるなど、「参加してよかった」等の保護者からの感想が寄せられた。
公益社団法人埼玉県栄養士会	県産米を使ったおにぎり教室	○				◎	○						継続	大宮区	保育園園児と保護者23名 (親3人、子ども20人)	主食・主菜・副菜のバランスやお米の話などを聞き、食事の大切さや県産米のお米について理解してもらう。 また、おにぎりなどを仲間や保護者と一緒に作り、調理を体験する機会としていただいている。 なお、米の収穫時である10～12月に、当所の他に県内3か所で同様な企画で実施した。	今回は、園児の参加が多かったが、みな、熱心にエプロンシアターやお米の話を聞いてくれた。「おにぎり」づくりでは、友たちと楽しく作り、普段は残す野菜なども食べることができた。
公益社団法人埼玉県栄養士会	児童福祉施設におけるクッキング講座		○	○		○							新規	中央区	31名 (大人)	9月に児童福祉施設(保育園、養護施設)に勤務する職員に対して「食育」についての考えや、施設における食育の取り組みなどについて事例発表をした。 また、「スキムミルク」を使用した調理実習を行い、献立づくりの幅を広げる一助とすることができた。	アンケートから、視覚、聴覚、味覚等の五感に働きかけ、様々な視点での食育の取り組み事例が参考になった、スキムミルクを使用した料理が献立に活かしたいという感想が寄せられた。
さいたま市食生活改善推進員協議会	総会	○	○	○	○	○							継続	浦和区	244名 (1回)	4/22「市民会館うらわ」 ・総会 ・記念講演「糖尿病はこわい病気ってホント？」講師：医療法人わかば医院 理事長・医師 齊藤茂先生	すみやかに議事進行が行われた。 糖尿病について正しく理解することができた。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

協議会委員の所属団体名	事業名	Plan								Do			Check							
		計画の目標					ライフステージ			平成27年度										
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等			
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進															
さいたま市食生活改善推進員協議会	理事会	○	○	○	○	○						○	○	継続	浦和区	83名(4回)	7/23 第14回総会報告、反省 他 10/19 「パパとチャレンジ！わくわくクッキング」報告 他 1/27 県食改事業報告提出の件、総会に向けて 他 3/23 H28年度 総会打合せ	すみやかに議事進行が行われ、活発な意見交換ができた。		
さいたま市食生活改善推進員協議会	合同研修会	○	○	○	○	○						○	○	○	○	継続	浦和区	129名(3回)	講義と調理実習 7/23 さいたま市食育の目標について～確かな目をもって食べる～ 10/19 生活習慣病予防のための食生活 1/27 災害時の食事について	4支部それぞれのリーダー研修・グループ伝達研修・公民館活動等のための研修会であるので、参加者全員前向きに取り組んでいる。参加人数に対し会場がやや狭い。
さいたま市食生活改善推進員協議会	リーダー研修会	○	○	○	○	○						○	○	○	○	継続	複数区	浦和支部 309名(7回) 大宮支部 91名(4回) 岩槻支部 72名(3回)	講義と調理実習 浦和支部:5/11「パパとチャレンジ！わくわくクッキング」他 大宮支部:9/2「高齢者の食事」他 岩槻支部:7/15「低栄養予防」他	公民館活動・地域活動のための研修会。各支部の研修内容が異なるので、レシピ等資料を交換する事とした。
さいたま市食生活改善推進員協議会	グループ伝達講習会	○	○	○	○	○						○	○	○	○	継続	全区	5541名 34回	講義と調理実習 合同研修、リーダー研修で学んだ事を会員及び地域住民に伝達する。 浦和支部23グループ 228回 3,385名 大宮支部14グループ 86回 1,649名 岩槻支部1グループ 9回 230名 中央支部2グループ 18回 277名	合同研修、リーダー研修の内容を正しく、判りやすく伝達し、参加者の健康増進に寄与する事ができた。食と健康に対して、関心を深める事ができた。
さいたま市食生活改善推進員協議会	支部活動	○	○	○	○	○						○	○	○	○	継続	複数区	1,400名(7回)	浦和支部:味噌作り教室 大宮支部:築地にぎり寿司体験教室、視覚障害者健康づくり教室 岩槻支部:城址公園・桜まつり、やまぶきまつり、ソバ打ち体験、工場見学(カゴメ(株))	祭の会場において、健康情報の発信や、相談、減塩食の試食配布等、幅広い年齢層に対し、多種多様の活動を行うことができた。今後も様々なニーズに応える事ができるよう、学習していきたいと思う
さいたま市食生活改善推進員協議会	グループ活動	○	○	○	○	○						○	○	○	○	継続	複数区	3,408名(62回)	浦和支部(1,786名) 「夏休み子供クッキング」他44回 大宮支部(492名) 「親子で楽しくクッキング」他13回 岩槻支部(1,130名) 「マルシェ・in・目白大学」他2回	地域のニーズに合わせて高齢者から乳幼児まで、男性の健康、女性の健康等、様々な食育事業を行った。この様な事業により、すべての年齢層に対し、それぞれの健康な食生活を伝えていきたい。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

協議会委員の所属団体名	事業名	Plan								Do			Check				
		計画の目標				ライフステージ				平成27年度							
		5つの「食べる」				乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等	
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進												
さいたま市食生活改善推進員協議会	保健センター事業への協力① 親子食育講座	○	○	○	○	○	○						継続	複数区	83名 (4回)	7/24 緑区 11組24名 7/28 桜区 8組18名 8/7 大宮区 7組15名 8/28 北区 12組26名 お話とお弁当作り ・「元気になるお弁当」のおはなし ・ヌウとコバトンのおにぎりづくり	「パパと一緒に調理をするのははじめて」と言う参加者も多く、とても楽しそうに取り組んでいた。食改が行った「エプロンシアター」の話を一生懸命、真剣に聞いてくれた。
さいたま市食生活改善推進員協議会	保健センター事業への協力②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	複数区	2,032名 (7回)	6/3 「食育月間イベント」 7/28、29 北区親子クッキング 8/28 親子食育講座 9/5 親子で運動 10/3 にこにこ食育教室 10/17 のびのび子育て広場	保健センターの様々な事業に協力する事で参加者の健康づくりに寄与する事ができた。今後も、多様なニーズに応える事ができる様に前向きに学んでいきたい
さいたま市食生活改善推進員協議会	委託事業① (財)日本食生活協会委託事業	○	○	○	○	○							継続	浦和区	30名 (1回)	1/18ヘルスメイトがTUNAGU(繋ぐ)パートナーシップ事業 講義と調理実習と運動	生活習慣病予防についての講義 口腔内の衛生について、低栄養予防のための食事作り、アルコールやタバコの害について等、高齢者の健康に大切なことを伝える事ができた
さいたま市食生活改善推進員協議会	委託事業② 埼玉県委託事業	○	○	○	○	○							継続	複数区	120名 (4回)	11/17 米粉推進事業(岸町公民館) 12/10 生活習慣病予防のための食生活改善事業(中央区役所保健センター) 12/16 生活習慣病予防のための食生活改善事業(七里公民館) 2/2 米粉推進事業(岩槻区役所保健センター) 講義と調理実習	生活習慣病などの予防をするための講義と調理の工夫などを伝える事ができた。 参加者から「食と健康に対する意識づけになった」という感想が聞かれた。
さいたま市食生活改善推進員協議会	委託事業③ さいたま市委託事業	○	○	○	○	○	○	○	○				継続	全区	212名 (10回)	パパとチャレンジ！わくわくクッキング テーマ・・・確かな目をもって食べる 西区:7/25 指扇公民館 18人 北区:6/27 北区役所保健センター 18人 大宮区:6/27 大宮区役所保健センター 25人 見沼区:6/6 見沼区役所保健センター 17人 中央区:6/22 与野本町コミュニティセンター 17人 桜区:6/20 桜区役所保健センター 23人 浦和区:6/27 岸町公民館 19人 南区:7/4 文蔵公民館 12人 緑区:6/28 緑区役所保健センター 21人 岩槻区:6/20 岩槻本町公民館 26人	講義と調理実習 「父と子がいっしょに調理をするのははじめて」という参加者がほとんどで、非常に楽しそうだった。自宅でもいっしょに作りたいたいと言う感想が多く聞かれた。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

協議会委員の所属団体名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度				成果・課題等	
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)		取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進												
さいたま市食生活改善推進員協議会	委託事業④ 地域委託事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	全区	358名 (17回)	7/31 岩槻区役所保健センター 親子食育教室 39人 10/5 植水公民館 高齢期の栄養について 21人 11/16 田島公民館 糖尿病予防 19人 11/30 大砂土公民館 手軽にアレンジ！とりわけ幼児食 19人 12/1 大古里公民館 生活習慣病予防(糖尿病予防) 22人 12/15 桜区役所保健センター メタボ予防 20人 12/17 桜木公民館 メタボ予防教室 17人 12/19 大宮東公民館 親子食育教室 17人 1/21 春岡公民館 生活習慣病予防のための食生活 19人 1/26 大砂土公民館 生活習慣病予防のための食生活 23人 1/30 内野公民館 男の健康厨房 13人 2/3 岩槻区役所保健センター 生活習慣病予防教室 23人 2/9 西浦和公民館 高血圧予防 23人 2/17 文蔵公民館 高血圧予防 25人 2/22 上木崎公民館 糖尿病予防 24人 3/1 大古里公民館 生活習慣病予防(高血圧予防) 19人 3/4 中央区役所保健センター 男の料理教室 15人	食事と健康との関りを多くの参加者に伝える事ができた。
日本チェーンストア協会 関東支部	日本チェーンストア協会 関東支部			○		○	◎	○	○	○	○	○	継続	その他		<地産地消の推進> 会員企業の店舗の青果売場に、「地場野菜コーナー」を設置し、積極的に販売を図った。	青果市場を通さず、直接、近隣農家より地場野菜を仕入れ、売場で販売することにより、地産地消の推進を図ることができた。
日本チェーンストア協会 関東支部	日本チェーンストア協会 関東支部	○		○		○	○	○	○	○	○	○	継続	その他		食事バランスガイド普及のリーフレットを作成。 会員企業の各店舗に備置	リーフレットの備置のみではなく、各店舗の青果売場において、POP等を活用して積極的に「食事バランスガイド」の普及を図った。
さいたま市地域活動栄養士会 バランス食の会	(料理教室) ひまわり	○	◎	○	○	○					○	○	継続	浦和区	各回14名 第1水曜 年10回	和・洋・中のレシピを工夫し、毎回喜んでもらえるように考慮し作成する。食材によっては、他の調理法も伝えられるよう準備する。簡単な説明、質問を受けた後、実習してもらい試食する。	慣れている方達なので手早く調理できていた。調理手順は各テーブルのチームワークで上手になっていてすばらしい。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

協議会委員の所属団体名	事業名	Plan							Do			Check						
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度									
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等	
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進													
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	(料理教室)食生活講習会	○	◎	○	○	○	○					○	○	継続	浦和区	第2木曜各回8名 第2金曜各回10名 各年10回	浦和ふれあい館で実施。月2回、旬の食材を使ってバランスのとれたレシピを作成、提供する。作り方の説明、質問を受けた後、実習の開始、試食をする。	参加者の中には、ご主人の減塩に取り組まれている方もいて、工夫されている話を聞くとすばらしいと感じた。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	(料理教室)男の手料理		◎	○	○	○	○						○	継続	中央区	第3水曜男性各回7名 年10回	定番の料理が作れるようなレシピを考えつつ、提供できるようにしている。食材の準備、調味料の準備をし迎える。料理がいつごろから作られているかというよう歴史にもふれられるよう準備をする。	男の方は、食材の産地や料理名の謂われ等にも興味があり、こちらも調べることで勉強になる。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	らくらく健康クッキング		◎	○	○	○	○						○	継続	中央区	第4水曜各回12名 年10回	今話題になっているような食材やメニューを取り入れたレシピを作成し、食材、調味料の準備をし、迎える。簡単な説明をしたあと、それぞれのテーブルで作っていただき、試食してもらう。	お料理好きな方が多く、手早く作れる。自宅で作る時に工夫している点などのお話もしてくれて、こちらも参考になった。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	彩の国 いきがい大学(伊奈)調理実習	○	○	○	○	○	○						○	継続	その他	いきがい大学受講生180名(5回)	6月3回、1月1回、2月1回実施調理実習の授業であるが12時に始める為、デザートはあらかじめ、こちらで作っておき、早く簡単に食べられるように準備をしておいた。師範台で一通り料理を作り説明してからそれぞれのテーブルで実習してもらい、試食する。	2回目、3回目の方もいるようになり調理の仕方ともスムーズになりつつある。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	乳幼児栄養相談	○	○	○		○	○	○						継続	浦和区	親子2組~7組 月4~5回	市内小児科の4か月、10か月健診に来た親子とその兄弟 離乳食を始める時期、おかゆの作り方、だしのとり方のお話をし、果汁からではなく、おかゆから始めることになった理由の説明をした。10か月のお母さんには、薄味の調味料の使い方、薄味にしなければならない理由をお話して納得して実行できるようにした。	離乳食の段階ごとに使える食材をコピーして渡したところ、冷蔵庫に貼って、チェックしながら進めているという話がお母さんから聞けて、役立ててもらえているのがうれしかった。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	彩の国 いきがい大学 伊奈学園 栄養講座	○	◎			○	○						○	継続	その他	いきがい大学受講生90名(3回)	2回は「高齢者の栄養学」(5/20、6/9実施) ロコモティブシンドローム、サルコペニアについて説明し、健康寿命をいかに長くするか、食生活や生活習慣のアドバイス及び食事の選び方、食べ方を指導 1回は「郷土食」(1/27実施) 埼玉の農産物を使った料理や昔から伝わる料理を紹介し、農産物のルーツや生産量を知る。	食事の大切さや、3食しっかり食べる事は、栄養面だけではなく、生活リズムが保たれ、健康寿命は自分自身の努力が大切だと理解しました、と言われました。 郷土食は、歴史、風土により出来た事が良くわかりました、と言われました。



平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

協議会委員の所属団体名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標				ライフステージ			平成27年度								
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)		取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等		
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	餃子作り教室(夏休みイベント)	三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化							新規	北区	36名 (小学生10名、一般男女26名) 男性8割 女性2割	8/2(日)午前10:00~14:30 プラザノース調理室 夏休みの日曜日、ぎょうざの皮を作り、焼ぎょうざと水ぎょうざにして親子で作って試食する。食後、食育クイズをして楽しむ。わかめスープ、杏仁豆腐、春雨サラダも作る	ぎょうざの皮も作ったので、達成感があり、手作りのおいしさを体験し、よかった。午後、クイズなどして時間がかかった。しかしとても喜ばれた。クイズにすると、おとも子どもも楽しめた。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	H27年度 埼玉県米消費拡大推進連絡協議会助成事業		◎			◎	◎						継続	中央区	15名	対象:一般成人 8月実施 埼玉県産の米粉を使用し、米粉パン、スープ、プリンを3品を作りました。米粉の特徴を紹介しながら、料理にどのように活用したらよいかを理解していただけるようなメニューづくりを心がけました。	家庭ではあまり米粉を使ったことがないという方も多くいましたが、手軽に、普段の料理に活用することができるという事を知っていただけだと思います。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	彩の国 いきがい大学(浦和、大宮)調理実習		◎			◎	◎						継続	大宮区	いきがい大学卒業生自主活動班 72名 (2回)	「バランスの摂れた食事作り」 9月、2月実施 ・自分で作る食事 ・簡単に買える食材での食事作り(地産地消) ・作ってみたい料理 ・食事作りのアドバイス	毎回楽しく食事作りを体験してもらっています。 作る事、食べる事、後かたづけを通して、食事への感謝、バランスの摂れた食卓を知ってもらえる事が出来ています。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	栄養相談 さいたまスーパーアリーナ		◎			◎	◎	◎	◎	◎			新規	中央区	一般者 50名 1回	骨密度を測定し、数値をもとに栄養指導を行う。 9月実施	学齢期の子供達にこれからのカルシウム摂取の重要性を認識してもらい、青年期以降の方には、骨粗鬆症の予防について理解してもらった。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	簡単にお正月料理 シルバー人材センターより依頼		◎	◎	◎	◎				◎	◎		継続	中央区	男女24名 (1回)	一般男女 実施日 12/16(水)10:00~13:00 メニュー お正月料理 ①手まり寿司 ②バイキンどん ③切り干し大根の松前づけ ④とろろ昆布汁 ⑤黒豆ゼリー	簡単に作れるものばかりで、喜ばれた。お正月の料理の参考にするといい方もおられ、楽しんでお料理をされていた。加工食品を利用して、一人暮らしの人でも作れるお正月を提供していきたい。
さいたま市地域活動栄養士会バランス食の会	レディースセミナー 薬膳料理に挑戦(講義と実技)		◎	◎	◎	◎				◎	◎		新規	その他	女性25名 (1回)	薬膳の理論を話し、その後、調理実習、試食をする 一般女性 実施日 2/26 13:00~16:00 メニュー①薬膳豆カレー ②菜の花ときのこのクルマサダ ③白きくらげのフルーツポンチ	薬膳に関心を持っている人が多く、質問が多くでた。白きくらげやくこの実など、売っている所知りたいたい人が多かった。講義と実習を2時間で終え、あわただしかった。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

協議会委員の所属団体名	事業名	Plan							Do			Check		
		計画の目標				ライフステージ			平成27年度					
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化										
一般社団法人さいたま市食品衛生協会	一般社団法人さいたま市食品衛生協会	○		○							継続	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度食品衛生指導員全国研修会を仙台にて受講3名参加</li> <li>地域の活動として小学校2年生数名に、食品衛生指導員(手洗いマイスター)が食品取り扱い、食するまえに大切なこととして衛生的な手洗方法について話をしています。また、児童養護施設へも出掛け食に係わる大切なこととして話をしています。</li> <li>食育リーフレットの配布「三食しっかりとしましよう」をイベント会場で配布をしています。</li> <li>食中毒予防街頭キャンペーンを浦和駅にて実施</li> <li>食品衛生指導員による巡回指導及びリーフレット配布</li> </ul>	
厚德幼稚園(さいたま市私立幼稚園協会)	野菜の栽培、収穫、試食		◎		○						継続	浦和区	年長組園児56名及び保育者2名 トマト、ナス、キュウリ、オクラ、パプリカ、インゲン、枝豆、米を栽培。日々、子どもたちと観察し、収穫時にはピザやサラダにして試食した。6月～8月まで実施し、体験を通じて食への関心を高め、食べ物を大切にすることを学んだ。	栽培を通じて収穫するまでの大変さや、食べ物に対する感謝の気持ち、関心を子どもたちそれぞれが感じることができた。たくさんの種類の野菜を育ててみて、食べ比べをすることもできた。
さいたま市PTA協議会	広報紙へのテーマ記事掲載	◎									新規	その他	会員及びその家族(会員数約10万) さいたま市PTA協議会会員に向けた広報紙に「食べ物に関心、持っていますか？」というテーマの、朝食をしっかり摂る事で生活のリズムを整え学力向上に繋がるという内容を掲載しました。	食育をテーマとした記事を掲載した事で、会員に、食育のメリット、食育を実行するきっかけづくりに繋がりました。
市民委員大久保悦子(大久保料理教室)	大久保料理教室		◎		○						継続	浦和区	毎月、和洋中華、薬膳等を月毎に変えて実施している。男性クラスも1組あり、意欲的に取り組んでいる。できるだけ食材も旬のものを使うようメニューを考えている。その日の夕食に早速使えるように献立を立てている。バランスのよい食事作りができるよう指導していきたい。	バランス良く献立を考える等の意識が芽生え、男性も料理に意欲的に取り組んでいる。食育は一生の事だと考え、男女の差もないと、料理教室の中で教えていきたい。
市民委員前山雄次(特定非営利活動法人日本成人病予防協会)	バナナうんちで元気な子！生活リズムを整えよう	◎	◎		○						継続	その他	小学生(主に低学年)を対象 東京都を中心に全国で73回実施 「うんち」をテーマに、便の種類、食べ物の選び方、消化・吸収・代謝・排泄のしくみなどを理解するためのテキストを作成し、エブロンシアターやうんちダンスを取り入れ、「早寝早起き朝ごはん」習慣づくりの大切さを伝えている。生活リズムや排便の様子を記録する「うんちクリニック」も実施。	健康の大切さを意識するようになった児童が増加し、また授業後は多くの点で生活習慣の改善が見られた。全国に「うんちブーム」を広めていくために、指導者養成講習会を各地で更に開催する。

## 2

## さいたま市食育関係部局の食育取組状況

- ・ 食品安全推進課 ※
- ・ 青少年育成課
- ・ 地球温暖化対策課
- ・ 10区保健センター協力事業
- ・ 北区保健センター
- ・ 中央区保健センター
- ・ 南区保健センター
- ・ 健康教育課（教育委員会）
- ・ 健康増進課
- ・ 地域保健支援課
- ・ 保育課
- ・ 資源循環政策課
- ・ 保健センター共通事業
- ・ 大宮区保健センター
- ・ 桜区保健センター
- ・ 緑区保健センター
- ・ 生涯学習振興課（教育委員会）
- ・ 子育て支援政策課
- ・ 環境総務課
- ・ 農業政策課
- ・ 西区保健センター
- ・ 見沼区保健センター
- ・ 浦和区保健センター
- ・ 岩槻区保健センター
- ・ 生涯学習総合センター

※平成28年度より「食品・医薬品安全課」に課名変更

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標				ライフステージ			平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)		取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)			
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化													
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	食の安全フォーラムの開催			○			○	○	○	○	○	○	継続	複数区	第1回:91名 第2回:75名 2回	フォーラムを2回開催した。内容は食に関する情報の講演・意見交換等。 第1回は8/31に武蔵浦和コミュニティセンターにて開催した。テーマは「健康食品で健康になれる?」。 第2回は2/11にプラザノースにて開催した。テーマは「HACCPで安全な食品を作る」。	入場者数を増やすためのPR方法やそのためのテーマの設定等を検討する必要がある。
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	食の安全委員会の開催			○			○	○	○	○	○	○	継続	その他	委員数13人 4回	食の安全・安心を確保するため、広く市民の意見・提言を施策に反映し、各界代表者の意見交換を目的として年4回(7/15、10/21、12/14、3/15)開催した。	食の安全確保対策について、意見・提言をいただき、施策に反映させた。
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	食の安全対策会議の開催			○			○	○	○	○	○	○	継続	その他	構成員10人 3回	・食の安全に関し、正確に必要な情報の提供と知識の普及、組織横断的な連携及び調整を図ることを目的に、関係する庁内の課所長等で組織する「食の安全対策会議」を年5回(5/20、11/24、12/8(メール開催)、1/22(メール開催)、3/7(メール開催))開催した。 ・食の安全基本方針改訂の検討、次年度における食の安全基本方針アクションプラン及び食品衛生監視指導計画の検討を行った。	組織横断的な会議として、今後も引き続き開催する。
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	次年度食品衛生監視指導計画の策定			○			○	○	○	○	○	○	継続	その他		食品衛生法に基づき、平成28年度の総合的な食の安全確保に向けた食品の監視・指導・検査計画を策定し、ホームページ等で公表した。	平成27年度の結果については平成28年6月末までに取りまとめ、公表予定
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	次年度食の安全基本方針アクションプランの策定			○			○	○	○	○	○	○	継続	その他		前回改正から約6年が経過し、食品表示法の施行など状況が変化したため、食の安全対策会議等で関係各課と意見交換を行い、内容の改正を行った。今後、平成27年度の実績値を置き換え、来年7月までに公表予定。	平成27年度の結果については平成28年7月末までに取りまとめ、公表予定
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	食の安全・安心アンケートの実施			○			○	○	○	○	○	○	継続	その他		サイエンスカフェ来場者、食の安全フォーラム来場者、ノウビル対策研修会受講者等に対して食の安全・安心に関する市民アンケートを実施した(回収数:359通)。アンケート結果は、次年度に開催する食の安全委員会や食の安全対策会議に提示し、市民の食の安全に対するニーズを正確に把握し施策に反映させていく。	幅広い世代へのアンケートの実施方法について検討する必要がある。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do			Check					
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度			成果・課題等					
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	食育webによる市民への情報提供						○	○	○	○	○	○	継続	その他		食育・健康ポータルサイト「食育なび」により、季節に応じた食の安全情報を、市民に迅速に情報発信していく。市ホームページへのリンク先の修正等の見直しを行った。	市ホームページの「食品衛生」のページとの整理を図りつつ、内容をさらに充実させていく必要がある。一部内容について更新できていないものがあるため、対応していく。
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	食肉等の生食等による食中毒予防対策の実施						○						継続	その他		細菌性食中毒の予防対策として、【食肉及び食鳥肉の生食及び加熱不足を原因とする食中毒予防対策強化期間】を設定(6/22～7/3)し、以下のこと等を実施した。 ・駅頭キャンペーンを行い、リーフレットと啓発品(1000部)を配布。(6/23) ・小中学生及びその保護者へリーフレット(115,110枚)を配布。 ・保健所食品衛生課により、焼肉屋等の飲食店や食肉販売施設等の監視を行った。	市民への一層の啓発活動の推進が必要。
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	ノロウイルスによる食中毒予防対策の実施						○						継続	その他		【冬の食の安全注意報】とし、ノロウイルスに起因する食中毒、感染症の好発時を前に以下のことを実施した。 ・駅頭キャンペーンを行い、リーフレットと啓発品(500部)を配布した(10/27)。 ・社会福祉施設等へリーフレット(3,792枚)を配布した。 ・市内の大量調理施設(220施設)へ啓発用ポスターを配布した。 ・保育所職員を対象とするノロウイルス対策研修会を開催した。(10/27)	市民への一層の啓発活動の推進が必要。
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	食の安全・安心市民講習会の実施						○						継続	その他	23名 全7回	・食に対する「確かな目を持つ市民」を養成することを目的に、5/21、6/26、8/4、10/2、12/16、1/28、3/17の全7回の講習会を開催した。 ・食品衛生に関する市の取り組みや添加物、残留農薬、リスクコミュニケーションなどの講習を行った。 ・23名中、規定の回数を受講した参加者9名に対し修了証を交付した。	受講に意欲のある受講生の確保やそのための受講生の募集方法などの検討。出席率、修了率の向上方法の検討。
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	サイエンスカフェの実施						○						継続	複数区	第1回：34名 第2回：34名 2回	・第1回：12/18に浦和コミュニティセンターにて開催した。テーマは「ノロウイルス都市伝説のウソホント」。 ・第2回：3/16にさいたま宇宙劇場にて開催した。テーマは「発酵・腐敗・カビ毒ー食とカビの不思議ー」。	サイエンスカフェという形式に不慣れなため、意見交換の仕方や会の進め方、会場の雰囲気作りが難しい。人気のあるテーマで、定員を超えてしまった場合の対応を検討する必要がある。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check		
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度					
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
食品安全推進課 ※平成28年度より、食品・医薬品安全課	食の安全市民ネットワーク推進員												継続	その他	33人 3回	・平成26年度の食の安全・安心市民講習会を受講し修了した方を、地域と行政を結ぶ役割を担い、食の安全情報を伝達する推進員として委嘱した。 ・年間3回(5/15、11/17、1/20)ネットワーク会議を開催し、各自の食の安全への取り組み内容や、日頃の購買活動の中で食の安全について気になっている点などを意見交換した。	活動報告や会議への出席について、推進員間で活動状況に差が出ている。
地域保健支援課	・給食施設における栄養成分表示の推進 ・栄養関係団体育成事業												継続	全区	【特定・小規模給食施設等施設数】 集計中  【さいたま市保健所管内給食研究会】 54施設 (H28.3現在)	・特定、小規模給食施設について、栄養管理報告書により栄養成分表示の有無について、毎年6月の実績をもとに確認を行った。 ・特定・小規模給食施設の巡回指導や、栄養関係団体に対する活動支援を行った。 ・特定・小規模給食施設等に従事する栄養士等に対する研修会を開催した。(4回)	・栄養管理報告書によって栄養成分表示の有無については把握しているが、その現状や活用方法について、十分な把握ができていない。
地域保健支援課	健康づくり協力店(栄養成分表示店)における栄養成分表示の推進												継続	全区	【指定店舗数】 33店舗  (H28.3.9現在)	・ホームページ等を通じて制度改正の周知を行った。 ・年度初めに全店舗を訪問し、前年度末に行ったアンケート内容の確認と、現状把握を行い、店舗に対して指定店舗であることの意識付けを行った。 ・12月にアンケート調査を実施し、食品表示法施行に伴う情報提供と、店舗の状況確認を行った。	食品表示法施行に伴い、店舗の状況確認を行い、指定要件の見直しを検討しているため、積極的な新規指定を控えた。また、閉店で指定解除となった店舗もあった。
地域保健支援課	市民団体の支援												継続	全区	【食改】 594人 (会員数) (H26実績、 H27.4月現在)  【愛育会】 398人 (会員数) (H26実績、 H27.4月現在)	・さいたま市食生活改善推進員協議会事務局、育成事業(10区合同リーダー研修会)を年3回実施。 「さいたま市食育推進計画『確かな目をもって食べる』について」「健康な食事について」「災害時の食事について」  ・さいたま市保健愛育会事務局 「小学生食育教室」「生活習慣病予防教室」等	食生活改善推進員協議会の育成支援については、時宜にあったテーマ等について調整を行う。保健愛育会については、地区からの依頼で事業を実施している。
子育て支援政策課	食育に関する情報の配布、掲示の協力												継続	全区	—	離乳食や幼児向けの食育に関する冊子やチラシの配布、ポスター等の掲示の依頼があれば、0～2歳児までの親子が利用する「単独型子育て支援センター」や「のびのびルーム」で配布・掲示協力した。	来場者に関心を持ってもらえるよう、引き続き配布・掲示をしていきたい。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課 名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学年期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
子育て支援政策課	単独型子育て支援センターでの食育に関する事業						○	○					継続	全区	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>単独型子育て支援センター10か所すべてで、育児相談(食事・栄養に関する相談を含む)を実施した。</li> <li>「離乳食講習会」を実施した。</li> <li>「年齢別懇談会」(保健師による離乳食の指導や参加者によるレシピ交換)を、年9回開催した。</li> <li>「手あそびとおはなし会」で食事に関する紙芝居や絵本を取り入れて、全13回、計748組の参加数で実施した。</li> <li>食育に関する絵本・パンフレット・レシピ集・パネルを展示・掲示・配付した。</li> <li>「おもいほり」や「旬の食材の紹介」など食への関心を高める体験をする機会を設けた。</li> </ul>	各取り組みを通して、子育てをする方に食への関心を持ってもらうことができた。
青少年育成課	さるはなキャンプフェスタ・親子のつどい		○			○		○	○	○			継続	見沼区	87名	対象:市内小学生とその親子 実施日:平成27年10月18日(日) 場所:猿花キャンプ場(見沼区南中野) 内容:野外炊飯、レクリエーション	みんなでいっしょにご飯を作り、いっしょに食べることの楽しさを知ってもらった。
青少年育成課	【植水児童センター】子育て支援事業「すくすく教室」	○	◎			◎		○	○	○			継続	西区	小学生20名 保護者6名	対象:小学生とその保護者 実施日:平成27年8月7日(金) 目的:地域に住む児童が健康でのびのび育つよう、講話や調理体験を通し、楽しみながら食育を学べる子育て支援を行う。 内容:植水地区社会福祉協議会・植水児童センター共催事業。保健センター管理栄養士、食生活改善委員の方々を講師に季節の食材を使った料理を作る。	枝豆ごはん、ポークピカタ、シャカシャカサラダ、クリームチーズ風ヨーグルトを作り皆で楽しく食べました。また、栄養講話を調理前に行い「確かな目をもって食べる」「朝ごはんの大切さ、夏休みの過ごし方」「包丁の使い方」を学び、「食育」について興味・関心を持つことに繋がりました。
青少年育成課	【植水児童センター】ハイハイサロン「離乳食講座」	○	◎			◎	○		○	○			継続	西区	乳児12名 保護者12名	対象:0歳児とその保護者 実施日:平成28年2月23日(火) 目的:離乳食についての知識を深める。 内容:保健センター管理栄養士による離乳食のメニュー・調理のポイントの紹介。保護者の離乳食に関する悩み、疑問を解決する。	講座20分間、質問タイム20分間。1つ1つの質問・回答に、皆さんうなずきながら、しっかり聞いてくださっていた。
青少年育成課	【馬宮児童センター】離乳食講座	○	○	○		◎	○		○	○			新規	西区	乳児19名 保護者18名	対象:乳児とその保護者 実施日:平成26年10月27日(月) 目的:離乳食についての悩み相談、解決を図る。 内容:保健センターの栄養士さんを講師とし、離乳食についてのお話、アンケート回答、悩み相談を行う。	事前に利用者にアンケートを取り、その回答をしながら離乳食について話をしていたので、静かに集中して聞いていた。その後の個別相談でも、質問をしていた方もいたので、講座としては良かった。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan								Do				Check			
		計画の目標					ライフステージ			平成27年度							
		三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)
青少年育成課	【馬宮児童センター】 野菜やお米を育てて収穫しよう	○	○	○		◎	○						新規	西区	小学生33名	対象:小学生以上 実施日:平成26年6月～9月 目的:食物の栽培、収穫体験をする。 内容:児童クラブの児童を中心に、野菜の栽培、収穫を行う。	水をあげる時に、だんだんと大きくなっていく野菜を見て、お世話をする楽しみや喜びを味わっていた。 持って帰る時に、保護者と喜びながら会話をしている姿もあった。
青少年育成課	【馬宮児童センター】 食育講座	○	○	○		◎	○	○	○				新規	西区	小学生33名	対象:小学生と保護者 実施日:8月12日 目的:親子で食育を学ぼう 場所:馬宮公民館 内容:食育講話 と保健センター管理栄養士、食生活改善推進協議会の方を講師に調理を実践する。	食育についての講話後、季節の食材を使って、親子で調理を実践してもらった。親子でまた、参加者同士で、コミュニケーションを取り合いながら、楽しく取り組むことができました。
青少年育成課	【宮原児童センター】 手打ちうどん作り		○			○	○	○	○	○	○		継続	北区	幼児1名 小学生1名 保護者2名	対象者:小学生以上と保護者 実施日:平成27年5月30日(土) 場所:宮原児童センター 内容:親子で協力し、手打ちうどんを作る。	参加者から好評を得たが、近隣小学校の行事と重なってしまったため参加者が少なかった。親子での交流のため今後も継続していきたい。
青少年育成課	【宮原児童センター】 お月見会		○			○	○	○	○	○	○		継続	北区	小学生7名 高齢者3名	対象者:小学生以上と高齢者 実施日:平成27年9月13日(日) 場所:宮原児童センター 内容:お団子作りと会食。	シニア世代からの食文化継承。楽しみながら食に対する知識を深め、参加者相互の親睦をはかった。
青少年育成課	【宮原児童センター】 みんなで作る豚汁&おにぎり		○			○	○	○	○	○	○		継続	北区	幼児4名 小学生14名 保護者7名 高齢者5名	対象者:小学生と保護者および高齢者 実施日:平成27年11月29日(土) 場所:宮原児童センター 内容:みんなで協力して豚汁&おにぎりを作り、会食する。	幅広い世代の参加者が楽しみながら調理し、参加者相互の親睦をはかった。保護者からこのような家族で参加できる行事をこれからもぜひ企画してくださいとの声があがった。
青少年育成課	【宮原児童センター】 クッキーにアイシングしよう		○			○	○	○	○	○	○		継続	北区	小学生18名	対象者:小学生以上 実施日:平成27年12月12日(土) 場所:宮原児童センター 内容:各人思い思いの柄をクッキーに描き試食。	アイシングを作る際の色の混ぜり方に興味を持つ子供が多く、色とりどりのオリジナルクッキーを作っていた。
青少年育成課	【宮原児童センター】 肉うどんとお稲荷さん		○			○	○	○	○	○	○		継続	北区	幼児2名 小学生19名 中学生2名 保護者9名 高齢者5名	対象者:小学生以上保護者および高齢者 実施日:平成28年2月21日(日) 場所:宮原児童センター 内容:参加者同士で協力し、肉うどんとお稲荷さんを作り、会食する。	みんなで作る豚汁&おにぎりに続き、幅広い世代の交流できる行事となった。



平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check						
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度			成果・課題等						
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所		参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)				
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進																
青少年育成課	【本郷児童センター】 じゃがいもほり	○		○		○	◎	○						○	○	○	継続	北区	幼児32名 児童13名 保護者41名 高齢者3名	対象: 幼児・児童とその保護者、高齢者 実施日: 平成27年7月11日(土) 目的: 親子でじゃがいもの収穫体験を共有し、コミュニケーションを深め、世代交流を行うとともに、食への関心を持ってもらう。また、地域で栽培されている野菜の事を知り、愛着を感じてもらうことを目的としている。 内容: 地域の自治会長の畑にて、地域の方々の世代交流とコミュニケーションを図りながら楽しく親子でじゃがいもの収穫をおこなった。	いつも児童センターに来館されない地域の方も参加したくださった方が数組いた。高齢者の方の参加もあり、世代交流を行いながら楽しくおこなえた。ニーズの高い内容だったので、来年度もぜひ取り入れたい。
青少年育成課	【三橋児童センター】 乳幼児食育講座	○	○	○										○	○		継続	大宮区	乳幼児13名 保護者12名	対象者: 幼児食期の幼児とその保護者 実施日: 平成27年10月15日(木) 場 所: 三橋児童センター 目 的: 離乳食期を終え、幼児食期を迎えた幼児の保護者を対象とし、食事とおやつとの与え方について、大宮区保健センターの栄養士さんから専門的に学び、疑問や悩みの解消を図るとともに、楽しく子育てできるよう、サポートする。 内 容: 栄養士さんによる講話「幼児食とおやつ講座」	事前に保護者に向けて、どのような疑問や悩みを抱えているかを聞き取りし、当日の講話の中で栄養士さんに答えていただいた。講話の合間に手あそび等も取り入れ、終始和やかな雰囲気が進められ、最後に保護者から食事に関する質問が多く寄せられ、栄養士さんが個別に丁寧に答えてくださった。
青少年育成課	【天沼児童センター】 バケツ稲				○		○	○									継続	大宮区	幼児5名 保護者5名	対象: 2~4歳の幼児とその保護者 実施日: 平成27年 5月15日(金) 場所: 天沼児童センター 内容: 種もみを、小さいバケツにて芽出しをし、苗にする。その苗を幼児親子で、10Lのバケツに土と水を入れ、田植えをし、稲刈りをする。	普段食べているお米がどのように成長し、収穫されるのかを知ってもらえた。また、悪天候により突入りが少なかったことやスズメによる被害等で収穫には至らなかった。そのため、栽培することの大変さを知ることにつながっていった。
青少年育成課	【天沼児童センター】 豆腐白玉パフェ作り					○	○	○									新規	大宮区	小学生9名 保護者8名	対象: 小学生とその保護者 実施日: 平成27年8月6日(木) 場所: 大宮東公民館 内容: 大宮東公民館の調理室にて、親子参加の簡単なおやつ作り。	手作りでおいしいおやつが簡単にできる事を知ってもらえる事ができた。終了後、家族に食べてもらいたいという言葉も聞こえ、家族の関わりも伺えた。
青少年育成課	【片柳児童センター】 クッキングクラブ						◎	○									新規	見沼区	年6回実施 小学生41名 保護者4名	対象: 小学生 実施日: 平成27年5月17日(日) 平成27年7月19日(日) 平成27年9月20日(日) 平成27年11月22日(日) 平成28年1月17日(日) 平成28年3月13日(日) 場所: 片柳児童センター 目的: クッキングを通して、食に対して関心が持てる機会をする。 内容: 簡単なお菓子作り(生キャラメル、シャカシャカシャーベット、ラップでおにぎり、クレープ作り、ロールサンド、チョコパティ)	初めて包丁で果物を切ったり、卵を焼いたり、火を通すことで材料が固まっていく姿など、参加児童にとって初めて体験することの多いイベントとなっている。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度								
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)		取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等		
青少年育成課	【片柳児童センター】お茶体験	◎				◎	○					新規	見沼区	年3回実施 小学生20名	対象:小学生 実施日:平成27年6月27日(土) 平成27年11月28日(土) 平成28年2月21日(土) 場所:片柳児童センター 目的:子どもの体験活動の普及として、日本文化である茶道を楽しむ機会を作る。また、茶道を通して礼儀作法を知る機会とする。 内容:ボランティア講師による茶道体験	実際にお抹茶をたてたり、和菓子を食べたり、参加児童は楽しんでいる。他にも礼儀作法としてふすまの開け方や歩き方なども体験しながら学べ、2回、3回と参加する児童も多い。	
青少年育成課	【片柳児童センター】離乳食講座					◎	○			○	○	新規	見沼区	乳児14名 保護者14名	対象:0歳児とその保護者 実施日:平成27年6月17日(水) 場所:片柳児童センター 目的:保健センターより講師派遣を依頼し、離乳食について専門的な話を聞く機会とする。 内容:食事方法や月齢ごとの離乳食について保健センターの管理栄養士より保護者向けに話をする。保護者の個々の質問、相談に栄養士が答える。	熱心に栄養士の話や聞く保護者の姿があり、終了後も個別に質問や相談をする保護者も少なくなかった。	
青少年育成課	【春野児童センター】おかしなクラブ	◎				○	○					新規	見沼区	小学生24名	対象:小学生 実施日:平成27年11月14日(土) 平成27年12月12日(土) 平成28年1月9日(土) 平成28年2月13日(土) 場所:春野児童センター 内容:簡単なお菓子作り	成果:普段利用しない児童もセンターに足を運ぶ機会となった。子どもたちはお菓子作りに真剣に取り組んでいた。 課題:調理設備が不十分。また、「食育」としての機能に欠けるところがあった。	
青少年育成課	【春野児童センター】子ども公民館	◎				○	○			○	○	新規	見沼区	小学生48名 保護者8名	対象:小学生 実施日:平成27年5月16日(土) 平成27年7月4日(土) 平成27年12月5日(土) 平成28年3月12日(土) 場所:春岡公民館 内容:ピザ・うどん・カップタルト・クリスマスカップケーキの調理	成果:公民館共催のため専用の調理室を使用して行うことが出来た。小学生のみならず親子行事もあり対象・内容も幅広く行うことが出来た。 課題:公民館担当者との共通理解が足りず、対象等の行き違いがあった。	
青少年育成課	【与野本町・大戸・向原児童センター合同事業】おいもほりにいこう!					○	◎	○			○	○	継続	中央区	80組	対象:幼児とその保護者 実施日:平成27年10月14日(水) 目的:幼児とその保護者に対して、自然に親しむ場を提供するとともに、収穫の喜びを体験する機会とし、食育事業の一環とする。 内容:地域の農家のさつまいも畑で、親子でさつまいも3株を掘り、収穫する。	さつまいも掘りを通して、土に触れ、とれたお芋の大きさに一喜一憂しながら、親子でのコミュニケーションを楽しんでいた。後日、蒸かし芋やスイートポテト、天ぷらなど美味しく楽しく食べた報告が多数あった。 継続して使用させていただいたさつまいも畑の持ち主から、今季からの使用のお断りを受け、さつまいも畑の調査から始め、新たな持ち主との約束が成立し、実施することができた。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
青少年育成課	【与野本町児童センター】 「離乳食講座」	○		○		○							継続	中央区	①親子21組 ②親子19組	対象: 乳幼児とその保護者 実施日: ①平成27年5月20日(水) ②平成28年2月17日(水) 目的: 離乳食を開始する予定の乳児の保護者及び与え方に悩んでいる保護者の方に講話、相談の機会を提供する。 内容: 栄養士による離乳食についての講話	事前に保護者の方の質問を栄養士さんに伝えることで、離乳食の悩みなどについての確かな回答を得ることができ、子育ての不安などを軽減できたと喜んでいました。また、実際の離乳食づくりと組み合わせ合わせた講座ができれば分かり易さが増すと感じた。
青少年育成課	【向原児童センター】 親子であそぼう0才 「食育講話」						◎	○						中央区	乳幼児20名 保護者21名	対象: 0歳児の乳児の保護者 実施日: 平成27年11月20日(金) 目的: 離乳食について知り、理解を深める。 内容: 中央区保健センターの管理栄養士から主に離乳食のすすめ方について話を聴き、質問タイムも設定し、悩みに対する回答を全員で共有できるようにする。	親子であそぼう(0才)のセンター事業と組み合わせ実施し、参加しやすいようにした。両親揃って参加した方もいて、食育講座の必要性も感じていたところ。一人ひとりから離乳食について話を聞き、その話の内容を共有して、困っているところや疑問点にアドバイス等もいただいた。
青少年育成課	【与野本町・向原・大戸・大久保東児童センター】 中央区・桜区合同 中高生料理教室						◎	○					新規	桜区	中高生3名	対象: さいたま市内中高生 実施日: 平成28年2月13日(土) 目的: 自分で作る力・食に関する知識を高め、理解を増やすことを目的とする。 内容: ・昼食とバレンタインチョコを作成	今年度から中央区・桜区合同事業として始めた中高生料理教室を開催。初めての事業ということもあり参加人数は少なかったが、参加した子どもたちからは、また来年も参加する。今回は和食が良い等リクエストが来た。
青少年育成課	【大戸児童センター】 ハイハイサロン「離乳食講座」	○					◎	○					継続	中央区	親子30組 (2回)	対象: 乳児の保護者 実施日: 平成27年6月11日(木) 平成28年2月18日(木) の計2回 場所: 大戸児童センター 目的: 栄養士の講話を聞き、乳児の食についての理解を深め、不安を解消することを目的とする。 内容: 栄養士による講話や個別相談	1時間のプログラムの配分は、20分の講話・15分ずつのグループ談話・個別相談となっていた。保護者は概ね満足していた。グループ談話では「色々な悩みがあり、子ども毎に違うことを再認識した」と言う声も聞かれた。設定時間を過ぎても個別相談をしたい方が多かったため、予定時間を延長した。
青少年育成課	【浦和別所児童センター】 「食育講座」	○					○	○					新規	南区	①乳幼児23名 保護者18名 ②乳幼児1名 保護者2名	対象: 乳幼児とその保護者 実施日: ①平成27年6月1日(月) ②平成28年1月18日(月) 目的: 食育についての理解を深めまる。 内容: 南区保健センターの栄養士から、幼児食についてや朝食の重要性、食事のバランスについてなどの話を聴いた。また、栄養士と保健師による個別相談も行った。	平成27年度は、南区保健センターの協力により、合計2回の食育講座を開催した。昨年度までは、離乳食講座を開催していたが、幼児食についての講座を要望する声が多くあり、今年度は、食育講座として対象を広げて開催した。個別相談の希望が多く、個々の疑問や悩みについて直接栄養士と保健師に相談できたことは良かったのではないだろうか。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
青少年育成課	【文蔵児童センター】 楽しくつくろう〜クッキング〜	○	○				◎	○	○		○		継続	南区	幼児4名 小学生101名 保護者14名	対象:小学生 実施日:①平成27年5月16日(土)②平成27年6月20日(土)③平成27年7月18日(土)④平成27年8月15日(土)⑤平成27年11月21日(土)⑥平成27年12月19日(土)⑦平成28年2月20日(土) 目的:簡単な調理や共に食べることによって食の楽しさ、大切さを知る。 内容:楽しくクッキングをしながら食べる。	小学生向けの簡単クッキングを通して楽しい食育講座を実施。小学生には楽しく、美味しく楽しめるとあって人気の事業であった。
青少年育成課	【文蔵児童センター】 食育講座	○	○				◎	○			○		継続	南区	乳幼児44名 保護者44名	対象:乳幼児親子 実施日:①平成27年6月19日(金) ②平成27年12月15日(火) 目的:乳幼児期の食について理解を深める。 内容:南区保健センターの栄養士による食育講座と食に関する相談役を行う。また個別相談も行う。	栄養士による食育講座として実施。申込が0歳児の離乳食世代が多く離乳食についての話が中心となった。保護者からも質問が積極的に出され、参加者同士で栄養士からの回答を共有できた。
青少年育成課	【岩槻児童センター】 べっこうあめづくり	○	○				◎		○	○			新規	岩槻区	①小学生16名 ②小学生31名	対象:小学生 実施日:①平成27年4月3日(金) ②平成27年9月12日(土) 場所:岩槻児童センター 内容:ホットプレートを使用。砂糖水をつくりアルミカップに流す。ホットプレートで沸騰させ、黄金色になったら冷やし固めてでき上がり。	作る工程は簡単ですが、砂糖水から色が変わっていく変化なども楽しみながらできました。
青少年育成課	【岩槻児童センター】 ポップコーンづくり	○	○				◎		○	○			新規	岩槻区	①小学生16名 ②小学生24名	対象:小学生 実施日:①平成27年7月18日(土) ②平成27年7月28日(火) 場所:岩槻児童センター 内容:ホットプレートを熱しコーンを敷く。ふたをしてコーンが弾ける様子を見ながら出来上がるのを待つ。コーンが白く膨らんだら塩を振ってできがり。	コーンの変化する様子がよくわかり、ポップコーンのできる過程を目で見ることができ楽しんで参加することができました。
青少年育成課	【岩槻児童センター】 デイキャンプ親子カレーづくり	○	○				◎		○	○			新規	岩槻区	幼児46名 児童2名 保護者36名	対象:幼児親子 実施日:平成27年11月3日(火) 場所:グリーンライフ猿花キャンプ場 内容:火からおこしカレーを作る	幼児同士、親子同士が交流しながら楽しくカレーを作ることが出来ました。また野外で一緒に食べることの楽しさを知りました。
青少年育成課	【岩槻児童センター】 チョコフォンデュ	○	○				◎		○	○			新規	岩槻区	①小学生14名 保護者2名 ②小学生19名	対象:小学低学年 実施日:①平成28年2月6日(土) ②平成28年2月20日(土) 場所:岩槻児童センター 内容:溶かしたチョコレートにスナック菓子等をつけて出来上がり。	低学年でも簡単にチョコレートを溶かすことができ、みんなで楽しくクッキングできました。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進												
青少年育成課	【岩槻児童センター】 チョコデコ	○	○				◎	○	○				新規	岩槻区	小学生13名	対象: 小学高学年 実施日: 平成28年2月13日(土) 場所: 岩槻児童センター 内容: チョコペンやトッピングを使って、クッキー等にデコレーションをしていく。	チョコペンやトッピングを使って思い思いにデコレーションできました。
青少年育成課	【仲本児童センター】 仲本ファーム・プチトマト栽培	○	○				○	○			○	○	新規	浦和区	利用者全般	対象: 利用者全般 実施日: 平成27年5月~7月中旬 場所: 仲本児童センター 内容: プランターに苗を植え、成長を見守る中で自然の恵みを実感するとともに、収穫し味わうことで野菜に親しみを持つ。	野菜が育つ過程を日々見守り、収穫して食べたことで、トマトぎらいのお子さんもおいしいと食べてくれたという声が聞かれた。また、食育月間や食育の日を紹介し、継続的に食育に関する情報を提供した。
青少年育成課	【仲本児童センター】 食育あそび	○	○				○	○			○	○	新規	浦和区	乳幼児34人 保護者32人	対象: 乳幼児とその保護者 実施日: 平成27年6月15日(月) 場所: 仲本児童センター 内容: 親子でお弁当づくり遊びを通じ、おいしい食事をバランスよく食べる疑似体験を行った。	いろいろな食材を食べることで、元気な体をつくれることを、遊びを通じて体験できた。
青少年育成課	【仲本児童センター】 栄養士・保健師による食育の話	○	○				○	○			○	○	新規	浦和区	乳幼児12名 保護者12名	対象: 乳幼児とその保護者 実施日: 平成27年10月22日(木) 場所: 仲本児童センター 内容: 保護者の質問に答える形での情報提供。	保護者の方が抱えている食に対する悩みにたいし、専門家に解りやすくこたえていただいた。普段の食生活の参考になる内容だった。
青少年育成課	【仲本児童センター】 学生ボランティア食育のおはなし	○	○				○	○			○	○	新規	浦和区	乳幼児16名 保護者14名	対象: 乳幼児とその保護者 実施日: 平成28年3月8日(火) 場所: 仲本児童センター 内容: さいたま市健康増進課「食育を実践しようプロジェクト」の一環。学生手作りのシアターを親子で楽しんだ。	大学生ボランティアが野菜のシアターを行った。子どもたちが実際に野菜に触れたり、大学生とも交流がもてた。
保育課	保育園での食育	○	○	○	○	○	○	○			○	○	継続	全区	96事例	対象: 公立保育園へ通う児童、その保護者 場所: 各公立保育園 内容: 公立保育園が食育年間計画を作成し、保育士等が実施した食育が61事例。保育課の管理栄養士が公立保育園へ出向いて実施した食育35事例。	栄養士が園を訪問し食育を実施するだけでなく、各園の保育士が日々の生活の中で食育活動を継続しているため食育が園での生活の一環となっている。 今年度は保護者向けの食育も実施した。今後も継続的に実施していきたい。
保育課	食だよりの発行	○	○	○	○	○	○	○			○	○	継続	全区	5回/年	対象: 公立保育園の保護者、食育ナビの閲覧者 実施: 年5回発行 場所: 公立保育園へ通う児童の保護者、食育ナビ上へ掲載 内容: 季節ごとの食に関する情報発信、衛生についての情報発信等	栄養士から公立保育園の保護者への情報発信ツールとして活用している。食育ナビへ掲載することでより多くの人へ発信することができた。 栄養士から伝えたい内容だけでなく、保護者や読者が必要としている情報を把握し発信していくことが課題である。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check					
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度								
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等			
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進															
保育課	食育通信の発行	○	○	○	○	○	○						○	○	○	継続	全区	1回/年	対象: 公立保育園の保護者、食育ナビの閲覧者 実施: 6月(食育月間)に発行 場所: 公立保育園へ通う児童の保護者へ配布、食育ナビ上へ掲載 内容: 公立保育園での食育の活動報告、食に関する情報発信等	公立保育園での食育の取り組みの事例や、食に関する悩み等への情報を発信することができた。食育ナビへ掲載することでより多くの人へ発信することができた。
保育課	公立保育園併設型子育て支援センター(4園)および子育て談話室(1園)での食育	○	○	○		○	○						○	○	○	継続	その他	16事例	対象: 公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室の利用者 実施: 1施設2~6事業程度/年 場所: 公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室 内容: 食育全般の講話、個別相談等	子育て支援センターと子育て談話室を利用する児童の保護者へ情報を伝えることができた。個別相談の時間を設ける事で保護者が落ち着いて相談できる場の提供ができた。 今年度は栄養相談を各施設2回以上実施できたので、来年度も継続していきたい。
保育課	食育ナビにて保育施設における食育活動の発信	○	○	○	○	○	○						○	○	○	新規	全区	21事例	対象: 市内の保育施設、食育ナビの閲覧者 実施: 年21事例 場所: 食育ナビ上 内容: 市内の保育施設で行っている食育の取組紹介や食物アレルギー研修について発信した。	食育ナビへ掲載することでより多くの人へ発信することができた。 今後も継続的に実施していきたい。
環境総務課	さいたま市環境フォーラム				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	中央区	展示参加団体: 23団体 スタンプラリー参加者: 1,045人 その他見学者: 11,000人	市民、事業者、学校、行政などがそれぞれの立場で行っている環境保全活動についての発表を通じ、お互いの情報交換と交流の場、また、多くの方々に環境に関心を持っていただくための環境教育・学習の場を創出することを目的に実施している、市内では最大級の環境イベントです。環境への配慮とあわせ食育についても広く啓発を行いました。 開催日 10月9日(金)・10日(土) 会場 さいたま新都心駅東西自由通路	イベント会場内に設置した「さいたま市PRブース」にて、環境関連のパンフレットなどとあわせ、食育のミニのぼり旗やガイド等を設置し、食育についても広く啓発しました。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
地球温暖化対策課	エコライフDAY				○	○	○	○	○	○	○	○	継続	その他	夏 26,537人 冬 21,164人	夏と冬の年2回、ある1日を省エネ・省資源など環境に配慮して過ごし、その成果を二酸化炭素の排出削減量で把握する取組であり、環境配慮のきっかけ作りが目的です。取組項目には、「食べ残しをしない」「近くの産地の食材を買う」といった、食育推進に関連する内容が含まれています。 市立小中学校の児童・生徒、市職員やその家族などが取り組みました。 取組期間 夏 6月～9月 冬 12月～3月	昨年度より多くの参加者があり、環境に配慮していただく中で、食育の推進についても取り組んでもらうことができた。
資源循環政策課	九都県市廃棄物問題検討委員会 3R普及促進事業				○	○	○	○	○	○	○	○	継続	その他		食べきりげんまんスマイルフォトコンテスト 実施期間: 10月1日～31日 場所: 協力事業者の店舗 内容: 来店者が食事を残さず食べきって、空になった容器と笑顔の写真を専用応募サイトに投稿してもらい、その後入選作品を選定し賞品をプレゼントした。 市内実施店舗: 13店舗 総応募数: 688	食品ロス削減の必要性を周知できた。
農業政策課	児童体験農業				○	○							継続	複数区	807	・小学生を対象に田植え、稲刈り等の体験事業を実施(7校) 実施場所: 西区、見沼区	生産から収穫、消費まで一貫した体験ができ、小学生にとって貴重な体験の機会となっている。農業後継者対策推進協議会事業として実施している。
農業政策課	ブランド米推進事業				○	○	○	○	○	○	○	○	継続	その他	-	レンゲ草を用いた栽培や農薬・化学肥料の使用を慣行の5割以下に減らした栽培など、環境保全型農業を中心とした米づくりを推進した。	今まで事業を推進していたうまい米づくり協議会が会の目的を達したことにより、今後の推進方法が課題。
農業政策課	地場産農産物料理講習会				○	○	○	○	○	○	○	○	継続	複数区	73	ふるさとの味伝承士や農村女性アドバイザー等の協力により、市民を対象に旬の地場産農産物を活用した料理講習会を開催し、郷土料理の調理方法や農産物に関する情報提供を行った。 実施場所: 緑区、岩槻区、北区、中央区 開催回数: 4回	内容によって応募者数にムラがある。人気のある内容については、回数を増やすなどの検討が必要。
農業政策課	さいたま市農情ガイドブック・マップ作成				○	○	○	○	○	○	○	○	継続	全区	-	農業情報を掲載した冊子の作成配布を通じて、市内農業の市民へのPRに努めるとともに、地産地消の推進を図った。 ・農情ガイドブック 8,000部	昨年度より早い契約を結んだことで、誌面の検討が十分にされた。配布場所を工夫する等、冊子により効果的な利用方法を検討する必要がある。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do					Check	
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度						
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)		成果・課題等
農業政策課	農産物ブランド化事業												さいたま市内には、くわい・紅赤いも・さといも・小松菜・チコリー・木の芽など特色ある農産物が多く生産されており、これらの農産物自身をPRするとともに、農商工連携による農産物の加工品の開発・商品化を行い、市内農産物の生産振興とその販路拡大を図った。 ・紅赤の商品化における新規開拓 ・イベント、庁内外でのPR活動(浦和レッズ主催「秋のスイーツまつり」など) 実施場所: 緑区	加工品の原料の安定供給	
農業政策課	ニーズ対応型農業支援事業												地元の農産物を使用した食品や料理を楽しみたい、提供したいといった消費者ニーズに対応した「欲しいものをつくる」ニーズ対応型農業を支援するため、ヨーロッパ野菜に続く新たなニーズの把握に努めた。	引き続き、ニーズの把握が必要。	
10区保健センター協力事業	食生活改善推進員養成講座	◎	◎										10区合同事業 4日間1コース(大宮区・浦和区等会場) 実施日: 8月19日、11月4日、11日、18日 いずれも水曜日 内容: 講義・運動実技・グループワーク	今年度は、1日目と2日目の間に会員活動体験期間を設け、入会の意思を固めた人のみ2日目以降の受講を可とした。そのため、例年みられた入会の意思はないが自分のために受講したいという方の申込が減り、また、実際に会員活動を体験したことで会のイメージがつかめ、昨年度よりも高い入会率につながったと考えられる。	
10区保健センター協力事業	親子食育講座 ～元気になるお弁当 ★ヌウ&コバトンのおにぎり作り～	◎	◎										対象: 3～6歳児(未就学児)とその保護者 実施日: 7月24日緑区保健センター、7月28日桜区保健センター、8月7日大宮区保健センター、8月28日北区保健センター、 内容: エプロンシアター「元気になるお弁当」 実習「ヌウとコバトンのおにぎり作り」	教室の目的はほぼ達成。今年度は募集人数に達しない区があったため、教室の周知方法の検討。	
保健センター共通事業	食生活改善推進員の育成	◎	◎										各区の状況に応じて食生活改善推進員を育成。地区活動が円滑に進むよう、各区の活動状況にあわせた支援(研修会の開催や活動内容へのアドバイス等)を行っている。	支援を通して、地域における食を通じた健康づくりを進めている。会員一人一人の質の向上と、会員数の増加をひき続き目指していく。	
保健センター共通事業	地区依頼教育	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	区によって異なる	区の状況に合わせて依頼を受けた。	食育推進計画(第2次)の推進を図る。
保健センター共通事業	出産前教室	◎											区によって異なる	妊娠中の食生活の留意点についての講義とバランスのとれた食事についての調理実習を実施。 実施日、実施回数については区によって異なる。通年実施。	・区、月によって参加状況に差がある。 ・各区の現状にあった内容に見直しを行っていく。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。



平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan								Do				Check						
		計画の目標					ライフステージ			平成27年度				成果・課題等						
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続		実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)			
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進															
保健センター 共通事業	パパとチャレンジ! わくわくクッキング	○	◎	○		◎	○		○	○		○	○	○	継続	全区	12～16組(各 区1回)	対象:小学生とその父親 実施日:6月～7月に各区1回 内容:「おいしい料理のスタートは、じょう ずな手洗いから」をテーマに調理実習	アンケート結果より、「教室に参加したことで、現在の食生活を振り返るきっかけになりましたか。」の間で、「きっかけになった」と回答した人が88%と高い値となったことから、教室の内容は子育て世代の男性への生活習慣病予防普及啓発の機会となったと考えられる。	
保健センター 共通事業	特定保健指導	○												○	○	継続	全区	区によって異なる	生活習慣改善の自主的な取り組みのため、行動目標を立て、6ヶ月間支援を行う。乱れた食生活を改善し、内臓脂肪の減少のために1日にどのくらいのエネルギーが必要なのかを知り、朝食の大切さ、3食バランスよく取ることを食事バランスガイドなどを活用し支援していく。実施日は各区により異なる。	積極的支援を受けた方は、食事の見直しについて認識できたと考えられる。健診後、対象者が保健指導に繋がるような働きかけが必要である。
保健センター 共通事業	離乳食教室	○	○			○						○	○	○	継続	全区	各区定員20 ～40人	対象:4～5か月児の保護者 実施:毎月1～2回 場所:保健センター 内容:離乳食の進め方講義と試食	不安を感じずに離乳食をすすめられるよう、デモンストレーションや試食を交えて教室を実施。お断り件数が少なくなるよう定員を配慮。	
西区 保健センター	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等)	◎	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	西区	—	<対象>区役所来庁者 <実施日>6月、10月 <場所>区役所内区民ホール <内容>6月:食育月間に、区内の野菜直売所等の情報を地図上にまとめ掲示。農業政策課作成の農情報ガイドブックを配布。 10月:さいたま市朝ごはんを食べよう強化月間に朝食の大切さや役割、手軽に食事内容を充実できる方法をまとめ、掲示。朝食摂取に関するパンフレットの設置。	情報を視覚的にまとめ、資料を自由に選べることで、区民がそれぞれ興味のある内容の資料を持ち帰ることができた。
西区 保健センター	にこにこ食育教室! ～西区の味を我が家にプラス!～	◎	○	○		◎	○					○			継続	西区	6人	<対象>幼児の保護者 <実施日>6月2日(火) <場所>保健センター <内容>ブルーベリー農家より栽培とブルーベリーの歴史等の講話、地元産ブルーベリーを使った調理実習をおこなった。また、地元の直売所を紹介し、西区の農業について理解を深めた。	地元農家の協力を得て実施した。教室後アンケートでは『今後直売所を利用してみたい』と回答した者が9割を超えた。生産者から直接話を聞き、実際に食べることで地産地消の動機づけにつながったと考えられた。	



平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check			
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度			成果・課題等			
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所		参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進													
北区 保健センター	親子で運動教室 パパ流100日間肉体系改造計画	○	○			○	○	○						新規	北区	44人	対象: 私立幼稚園に通園している保護者とその児 実施日: 2日間1コース 9月5日(土)、12月12日(土) 場所: 銀鈴幼稚園 内容: 運動実技、体力測定、食育講義、紙芝居等。親子分離し、父に対しては運動実技を行い、児に対しては食生活改善推進員が、食育の話や紙芝居等を実施した。	保健センターからのアプローチが難しい若い男性世代へ、幼稚園と協働することで、生活習慣を見直してもらうきっかけをつくることができた。園児たちも楽しみながら食育を学ぶことができた。今後、日常生活で取組みやすいような内容で、親と子に、より健康的な生活習慣を意識できるようなアプローチを検討していく。
北区 保健センター	ウォーキング教室 みんなで歩きたい!	○												新規	北区	43人	【対象】18歳から69歳 【実施日】1コース目: 5月13日、5月27日、2コース目: 10月8日、10月29日 【場所】保健センター・プラザノース周辺 【内容】ウォーキング、栄養に関するミニ講話、運動指導士によるウォーキングレクチャー	2日間1コースとし、歩数とコメントの記録をプログラムに入れ、継続を促した。また、歩く姿勢を撮影し、自分で歩く姿勢の振り返りができるようにした。教室後にアンケートやフォロー教室を実施することで、継続を促した。ミニ講話にて食に関する話をしたり、水分の取り方などを伝えた。
大宮区 保健センター	健康週間を利用した普及啓発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	大宮区		対象: 来庁者 実施日: 各健康週間 内容: 健康週間・月間に合わせた区報への啓発記事の掲載や区役所内各所及び保健センター掲示コーナーにてポスターや掲示物での啓発、パンフレットの配布を実施。	保健センターへの来庁者をはじめ、広く市民に普及・啓発ができた。今後も同様の取り組みを継続していく。
大宮区 保健センター	男の筋トレ講座	◎	○	○		○								継続	大宮区	11人(1回)	対象: 区内在住の18~64歳の男性 実施日: 平成28年1月23日(土) 場所: 大宮区役所 内容: メタボリックシンドローム予防と筋肉をつくる栄養学についての講義、体組成測定	「3食しっかり食べる」大切さとバランスの良い食事の整え方について、男性が気になる「筋肉」と言う切り口で伝えることができた。
大宮区 保健センター	ママの元気アップ講座 ~ちよつと一息 こころからのほぐしタイム~	◎	◎	○	○	◎								継続	大宮区	46人(1回)	対象: 区内在住の0~3歳児とその保護者 実施日: 11月19日(木) 場所: 子育て支援センターおおみや 内容: 子育てママの栄養バランスについての講義、体組成測定	子育て支援センターおおみやと協働で実施したことで、参加者を集めやすく、また乳幼児を持つ母親たちでも気兼ねなく参加してもらうことができた。適正な食事量と栄養バランスの整え方、家族や仲間と楽しく食べる大切さについて伝える機会となった。来年度は食育推進計画(第2次)の重点取組目標が「まごころに感謝して食べる」のため、内容を一部変更して実施していく。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度								
		三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)
大宮区保健センター	生活習慣病予防普及啓発イベントにおける食育啓発	◎					○	○	○	○	○	○	継続	大宮区	900名(2回)	対象: イベント参加者 実施日: 7月22日(水)、10月31日(土) 実施場所: NACK5スタジアム、鐘塚公園 内容: 「朝ごはんを食べよう」等、食育に関するリーフレットの配布による普及啓発。	大宮区で実施されるイベントへの参加者に、パンフレットや食育啓発グッズを配布し、広く市民に啓発ができた。効率的に広く啓発する機会となるため、来年度以降も継続して実施していく。
見沼区保健センター	夏休み親子食育Labo	○	○	○			○	○		○			継続	見沼区	62名(3回)	対象: 区内在住の小学校3～6年生の児童と保護者 実施日: 平成27年7月29日(水)、30日(木)、7月31日(金) 場所: 見沼区役所保健センター 内容: 小麦粉を使用した実験とピザ・スープ作りの実習を通して生活習慣病予防と食事の関係について学んだ。また、地元農家の果物を用い、地産地消の啓発を行った。	アンケートから、9割以上の保護者が「生活習慣病予防のために食生活に気をつける重要性がわかった」、「野菜を食べる大切さがわかった」と回答した。しかし児童中心の事業で保護者に対しての内容が十分とは言えないため、28年度は親子ともに生活習慣病予防を重視した教室へと事業を変更する。
見沼区保健センター	アラフォーからのポディレッション	○					○			○	○		継続	見沼区	延べ82名(2日間1コース年間2コース)	対象: 区内在住の64歳以下で生活習慣病予防に関心のある方、また特定健康診査の結果「積極的支援」の判定を受けた方。 実施日: 年2コース(5月コース 平成27年5月12日(火)・25日(月)、10月コース 平成27年10月9日(金)・19日(月)) (1コース2日間) 場所: 見沼区役所保健センター、クラブハウスSSCあすも 内容: メタボリックシンドローム予防のための「簡単ヘルシーごはん術」の講義と試食。2日目はメリハリボディエクササイズを実施。	市報の他、区内17か所の施設にチラシを配布し、2コースとも定員以上の申込みがあった。アンケートからもバランスよく食べるコツ、塩分を減らすコツが参考になったという回答が多く得られた。来年度も同様に実施する。
中央区保健センター	親子deクッキング*	◎	◎				○	○		○			継続	中央区	27名(1回)	親子で楽しく料理を作りながら食生活を見直し、食事の大切さを学ぶ教室 対象: 3～未就学児とその保護者 実施日: 5月24日(日) 場所: 中央区役所保健センター 内容: 講話と調理実習	アンケート結果より、「三食しっかり食べる、いっしょに楽しく食べる」ことの大切さがわかったと回答が90%以上であった。今後も食育事業を通して食育の大切さを伝えていくように継続しておこなっていく予定。
桜区保健センター	ごちそう★桜区レストラン	◎					○	○		○	○		継続	桜区	10組21名	対象: 小学3～6年生とその保護者 実施日: 3月19日(土) 場所: 桜区保健センター 内容: 桜区の伝統野菜「五関菜」の調理体験や生産者からの講話を通し、食文化や地産地消について伝える。また、親子で試食することで、共食の大切さを伝える。	アンケート結果より、理解度・満足度は100%であった。また「五関菜は知らなかったので知れてよかった」「知らない野菜の話も聞けたり素敵な時間をすごせた」等の感想があった。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do					Check	
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度						
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)		成果・課題等
桜区保健センター	(M)みんなで(I)一緒に (A)歩こう会♪	◎									継続	桜区	42名(5回)	対象:さいたま市民(のびのびWailing参加者) 実施日:4月23日(木)、6月5日(金)、 10月22日(木)、12月14日(月)、 3月15日(火) 場所:桜区保健センター 内容:桜区ふれあいロードをみんなで ウォーキング後、減塩や野菜摂取の大切 さ等についてミニ栄養講話と試食を実施。	試食もすることで、より実践的な 減塩や野菜摂取の方法を伝える ことができた。
桜区保健センター	美脚トレーニング			◎							継続	桜区	18名	対象:18~74歳の方 実施日:12月2日(水) 場所:桜区保健センター 内容:足裏測定・足指力測定、 美脚・小尻トレーニング、 冷え予防の食事のコツについてミニ 講話	アンケートより、「今後の生活で実 践しようと思う」と回答の方が12 名だったが、「難しい」と回答した 方が2名いたため内容の検討が 必要。
桜区保健センター	桜区キッズ☆3・4・5 歳	◎	◎		◎	◎					新規	桜区	23名	対象:区内在住の3~5歳児とその保護者 2名 実施日:11月28日(土) 場所:桜区保健センター 内容:30~40代の生活習慣病予防啓発を 目的に、児と保護者1名は歯の講話と親 子体操、もう1名の保護者はおやつの上 手な振り方についての講話とおやつ作り を行い、みんなで試食。	アンケート結果より、全員が「今 後の生活で実践しようと思う」「す でに実践している」と回答、参加 者からは大変好評な教室であつ たが、参加者を集めるのに苦労 を要したため、対象等検討が必要。
浦和区保健センター	うらわメタ防クラブ with PTA (生活習慣病予防普 及啓発事業)	◎	◎	◎	◎	◎					継続	浦和区	①40名	さいたま市PTA協議会浦和区連合会と共 催 【対象】区内国公立小・中学校のPTA 【実施日】①7月7日(火) 【場所】①浦和区役所保健センター 【内容】コース1「10年後も美しく私の食習 慣」・・・管理栄養士による講義「バランス のよい食事」、歯科衛生士による講義「歯 と口の健康」、保健師による講義「メタボの 基礎知識」	アンケート調査結果(下記「10年 後も美しい私の食習慣 in 幼稚 園」と合わせた結果)より、食事パ ランスガイドについて「よく分かっ た」69%・「だいたい分かった」 29%、自分にとって適切な食事の 内容・量が「よく分かった」51%・ 「だいたい分かった」47%。参加 者は、バランスのよい食事につい て概ね理解できたと考えられる。 コース2(調理実習)は希望がなく 見直しが必要である。
浦和区保健センター	10年後も美しい私の 食習慣 in 幼稚園 (生活習慣病予防普 及啓発事業)	◎	◎	◎	◎	◎					継続	浦和区	①28名 ②27名	さいたま市私立幼稚園協会浦和区支部の 協力により開催 【対象】区内私立幼稚園の保護者 【実施日】①7月6日(月) ②9月17日(木) 【場所】①みぬま幼稚園 ②浦和幼稚園 【内容】管理栄養士による講義「バランス のよい食事」、歯科衛生士による講義「歯 と口の健康」、保健師による講義「メタボの 基礎知識」	アンケート調査結果(上記「うらわ メタ防クラブ with PTA」と合わ せた結果)より、教室で学んだこと をしようと思った人の割合は8 ~9割と高かった。 参加者が教室で学んだことを、そ の後の生活に生かし、望ましい生 活習慣を継続できるよう、内容等 を改善していく。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。



平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度								
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
緑区保健センター	プレ更年期教室			○									継続	緑区	19人	対象: 30~40代の女性 実施日: 9月30日(水) 場所: 緑区保健センター 内容: 講義「プレ更年期の特徴と気を付けたい食事」 実習「プレ更年期を乗り切るリラックス方法と運動」	アンケート結果より、教室の満足度が高く、食生活について考える良い機会になっている。
緑区保健センター	すっきり快腸！冷やさない体づくり運動・栄養教室			○									継続	緑区	13人	対象: 18歳~64歳の方 実施日: 12月1日(火) 場所: 緑区保健センター 内容: 「お腹まわりの筋肉を使うエクササイズ」「便通を良くするバランスの良い食事」「いつでも若く保つためのお口の健康について」	食物繊維を多く含む食品を使ったおかずの試食やレシピを提供することで、便通をよくする食事や食品選択について伝えることができた。また、アンケート結果より、教室の満足度が高く食生活について考える良い機会になっている。
緑区保健センター	家族みんなで健康教室 ～ママは中華まん作り、パパはお子さんと親子体操～	○	◎	○				○					新規	緑区	9組(29人)	対象: 2歳～未就学児とその両親 実施日: 7月11日(土) 内容: 子育て中の両親と子供が参加することで、母親に家族の食生活について、父親に手軽にできる運動を紹介し、家族全体で生活について見直すきっかけとする。	アンケート結果より、教室の満足度が高く、家族そろって食生活を振り返る良い機会となっている。
岩槻区保健センター	達人に学ぶおやこシリーズ	○	◎	○	○	◎		○					継続	岩槻区	①24名 ②27名	対象: 小学生親子 実施日: ①7月4日②1月23日 場所: 保健センター 内容: ①「産みたて岩槻産卵を使ってクッキング♪」地元養鶏場の方から卵についての講話と産みたて岩槻産卵を使って親子で楽しく調理実習 ②「めざせ！岩槻産ヨーロッパ野菜ソムリエ」地元農家の方からヨーロッパ野菜についての講話と岩槻産ヨーロッパ野菜を使って親子で楽しく調理実習	アンケート結果より、教室に対する満足度も高く、親子で楽しく食育について学ぶよい機会となっている。リピーターが多く、お断りも出ていることから、ヨーロッパ野菜については来年度も同じ内容の教室を実施する。
岩槻区保健センター	モテ☆カラダ健康倶楽部 (栄養編)	◎		○									継続	岩槻区	①11名 ②16名 ③14名	対象: 特定保健指導積極的支援対象者および区民 実施日: ①6月30日②11月10日③2月19日 内容: ①「ハバツとしっかり！朝ごはん」をテーマに講話と調理実習 ②「600kcalで満腹ごはん」をテーマに講話と調理実習 ③「野菜たっぷりベジごはん」をテーマに講話と調理実習	特定保健指導積極的支援対象者の参加者が減ってきていることから、今年度で終了

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check					
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等					
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)	
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進													
健康教育課	さいたま市学校給食週間記念行事						○	○	○	○	○	○	○	継続	その他	525人	対象:保護者、教職員、一般市民 実施日:平成28年1月20日 場所:市民会館おおみや 内容:シンポジウム、展示等	シンポジウムの開催、児童生徒の作成したポスターや学校給食献立の写真等の展示、学校給食レシピの配布を行い、子どもへの食育の大切さや学校給食の担う役割などについて理解を深められた。
健康教育課	研究委嘱事業						◎	○						継続	複数区	—	対象:市立小・中・特別支援学校教職員 場所:岩槻区、緑区、北区 三室小学校(26.27年度) 西原小学校(26.27年度) 大宮別所小学校(27.28年度) 東浦和中学校(27.28年度) 内容:市立小・中学校の希望による委嘱校が食育の推進に取り組み、2年目に研究発表を実施	研究発表会を行い研究の成果を共有することにより、市立学校における食育について理解を深め、食育の推進を図ることができた。
健康教育課	さいたま市学校給食衛生管理講習会						○							継続	その他	422人	対象:市立学校教職員 実施日:平成27年8月24日 場所:埼玉会館 内容:講演会	学校給食における衛生管理の向上を図ることができた。 対象者が、管理職、学校栄養士、調理従事者と職種が様々であったり、受講者が毎年ほぼ同じであったりするため、講演内容について考慮する必要がある。
健康教育課	地場産物の活用推進						○	○						継続	複数区	—	①彩の国ふるさと学校給食月間の実施 対象:児童生徒 実施日:11月 場所:市立小・中・特別支援学校 内容:埼玉県産、さいたま市産の食材の使用 ②地元生産者との情報交換会 対象:南区、中央区、大宮区の学校栄養士 実施日:7月～8月(各区ごとに実施) 場所:市立小・中学校 内容:地元生産者と地場産物の給食への活用について情報交換を市内10区を3つに分け、3か年計画で実施	①平成27年度の地場産物活用率は、28%であった。前年度より0.5%増加した。 ②地元生産者と学校栄養士が、生産状況や給食へ地場産物を使用するための条件等を話し合い、それぞれの立場を理解することができた。少しずつ活用につながってはいるが、活用拡大のためには、今後も話し合いを継続していく必要がある。
健康教育課	生活習慣病予防学校検診	○												継続	全区	187人	対象:腹囲身長比0.5かつ肥満度35%以上の小1～小4、中1 実施日:10～11月(各医師会ごとに実施) 場所:各医師会等 内容:医師、栄養士による個別指導、集団栄養指導、学校における継続指導	小1から小4になるまでの期間で肥満の児童数の増加が見られることから、低学年の指導の充実を図っている。



平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check			
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等			
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進											
健康教育課	地元シェフによる学校給食の実施	○		○	○		○					継続	その他	20校	対象:児童生徒、教職員 実施日:給食実施日 場所:市立小・中・特別支援学校 内容:地元のシェフと連携を図り、学校給食を実施	児童生徒の食への関心が高まった。 より多くの学校が実施できるよう、シェフと連携を図る。
健康教育課	学校教育ファーム			○	○		○					継続	全区	小103校 中57校	対象:児童生徒、教職員 場所:市立小・中学校 内容:農業体験活動	教育計画へ位置づけ、市立全小・中学校で実施できた。 農業体験活動を通して、食物や生産者の方への感謝の気持ちを育むことができた。
生涯学習振興課	「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーン	○					○					継続	全区	-	○さいたま市教育委員会の取組 全国学力・学習状況調査の結果から、本市の児童生徒の生活習慣等に関する現状を把握・分析するとともに、キャンペーンに係る啓発資料を作成し、学校及び保護者へ情報提供するなど、児童生徒の生活習慣がさらに向上するための取組について推進を図った。 文部科学省の「早寝早起き朝ごはん」国民運動と関連を図りながら推進した。 ○学校の取組 全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査等の結果を活用するなどして、児童生徒の生活習慣向上に向けて、家庭への呼びかけや、児童生徒への意識付けを、組織的、計画的に進めた。	○平成27年度さいたま市学習状況調査(平成28年1月実施)の結果によると、朝食を毎日食べていると回答した児童生徒の割合は、小学5年生が85.7%、中学2年生が80.1%であることを踏まえ、今後も、家庭等への働きかけを推進していく。
生涯学習総合センター	(各公民館事業)														別添「平成27年度公民館事業報告書(食育)」を参照	
健康増進課	食育一般の推進	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	継続	その他	①食育推進協議会 2回開催 (7月23日、平成28年3月17日) ②食育推進担当者会議 3回開催 (5月、9月、1月) ③食育ナビによる情報発信 ④第2次さいたま市食育推進計画の普及・啓発 「0歳から家庭で実践できる食育」をテーマとしたクリアフォルダを増刷、保健センターの離乳食教室等で市民へ配布。 ⑤食育を実践しようプロジェクト 3回開催 (8月、12月、2月) 市内在住または在学の大学生による食育活動を支援した。児童センター、放課後児童クラブ、大学、老人福祉センターにおいて食育活動を実践した。	食育に関する情報発信や広報活動、食育を推進する人材の育成・支援、食育推進のためのネットワークの強化により、第2次さいたま市食育推進計画を推進した。 取組の継続、さらなる強化が必要。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check				
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度							
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等		
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進														
健康増進課	5つの「食べる」の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	その他	①食育月間(6月)、食育の日(毎月19日) ・ポスター作成・配布(保育施設、放課後児童クラブ、教育機関、公共施設等) ・ウエットティッシュ配布(保健センター等) ・食育ナビ、市ホームページ、市報による普及啓発 ②平成27年度の重点目標「確かな目をもって食べる」の取組として、食育を实践しようプロジェクトにおいて、災害用アルファ米の体験を行った。	平成27年度の重点目標「確かな目をもって食べる」を啓発できた。  小目標「非常時に備えた食の対応力を育てる」に関する取組の充実が課題。	
健康増進課	重点プロジェクト(共食、朝食、協働)の推進	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	①共食 ・食育ナビによる啓発 ②朝食 ・「毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間」ポスター作成・配布(保育施設、放課後児童クラブ、教育機関、公共施設等) ・市内JR14駅の自動改札にステッカー掲出(10月3日～10月9日) ・食育を实践しようプロジェクトの食育活動として、成人式にて朝食摂取を啓発するCMを上映(平成28年1月11日) ・食育ナビ、市ホームページ、市報による普及啓発 ③協働 ・食育を实践しようプロジェクト(再掲)	朝食欠食の多い青年期を中心に、朝食の重要性を啓発できた。
健康増進課	各ライフステージにおける食育の推進	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	①「さいたま市乳幼児期における食育取組事例集」作成・配布(幼稚園、保育施設等) ②「さいたま市食事バランスガイド3～5歳児向け」リーフレット作成・配布(幼稚園、保育施設等) ③0歳からの食育講座(0～2歳児と保護者対象、8月31日、西区子育て支援センター) ④食育を实践しようプロジェクト(再掲)	各ライフステージの課題や目指す姿に合わせた食育を実施できた。

### 3 各公民館の食育取組状況

【西区】	・ 指扇公民館	・ 植水公民館	・ 内野公民館	
【北区】	・ 大砂土公民館	・ 日進公民館	・ 宮原公民館	・ 植竹公民館
【大宮区】	・ 桜木公民館	・ 大宮南公民館	・ 大宮中部公民館	・ 大宮北公民館
	・ 三橋公民館	・ 大宮東公民館		
【見沼区】	・ 大砂土東公民館	・ 片柳公民館	・ 七里公民館	・ 春岡公民館
【中央区】	・ 鈴谷公民館	・ 大戸公民館	・ 与野本町公民館	・ 下落合公民館
【桜区】	・ 田島公民館	・ 土合公民館	・ 栄和公民館	・ 大久保東
【浦和区】	・ 領家公民館	・ 浦和南公民館	・ 上木崎公民館	・ 大東公民館
	・ 針ヶ谷公民館	・ 本太公民館	・ 常盤公民館	・ 南箇公民館
【南区】	・ 文蔵公民館	・ 南浦和公民館	・ 谷田公民館	・ 六辻公民館
	・ 西浦和公民館	・ 別所公民館	・ 善前公民館	
【緑区】	・ 三室公民館	・ 原山公民館		
【岩槻区】	・ 岩槻本町公民館	・ 岩槻南部公民館	・ 岩槻北部公民館	

平成27年度各公民館事業報告書

		件数total						総回数				参加延数total	食育に関する学習事業(事業種別コード: 1510)														
		105						119				1870															
館No. (名簿順)	区	公民館名	館内講座No	事業種別 コード	事業名	主な内容	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	三食	いっしょに	確かな	まごころ	食文化	推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続			
2	西	指扇	20	1510	大人にじいる公民館 (料理プチ楽膳)	生活・文化の振興を図るため、様々な年齢層の方々にご参加いただける講座を開催する。	3月	1	どなたでも	16人	19					○						○	○	○			
4	西	植水	1	1510	春のケーキづくり教室	季節にあったケーキを製作する事で、技術の向上と食に対する理解を深める。	5月	1	どなたでも	16人	10					○							○	○	○		
4	西	植水	7	1510	かんたんのできるパン教室	家庭で出来るパンの技法を学び、食に対する理解を深める。	7月	1	どなたでも	16人	16					○							○	○	○		
4	西	植水	13	1510	秋のお菓子をつくろう	季節にあったお菓子を製作する事で、技術の向上と食に対する理解を深める。	9月	1	どなたでも	16名	19					○							○	○	○		
5	西	内野	7	1510	naturalパンクラブ(託児付)	食の安心・安全を学びながらのパンづくり	6月	1	どなたでも	24人	23	○	○	○	○		○							○	○		
5	西	内野	27	1510	大人女子倶楽部(託児付)	ストレッチや料理を通して家庭生活の向上を図る。	12月~1月	3	30歳以上の女性	20人	56		○				○	○						○	○		
6	北	大砂土	6	1510	親子パン作り教室	親子でパン作りの基礎を学びます。	6月	1	大砂土公民館 地域在住の小 学生と保護者	12組	28		○		○								○			○	
6	北	大砂土	25	1510	太巻き作り教室	太巻き作りを通して手作りの楽しさを学びます。	1月	1	どなたでも	16人	19					○	○						○	○			
6	北	大砂土	27	1510	手づくり味噌教室	材料からこだわった味噌を作ります。	2月	1	どなたでも	16人	16			○	○	○							○	○			
7	北	日進	2	1510	食育講座	華麗なフランス料理にチャレンジ	5月	1	成人の方	15人	16		○										○	○	○		
8	北	宮原	3	1510	エコクッキング	環境にやさしい料理の実習をしながら環境と食についての理解を深めます。	5月	1	成人	20人	14					○							○	○	○		
8	北	宮原	36	1510	そば打ち教室	そば打ちを楽しく体験しましょう。	12月	1	成人	16人	16					○	○						○	○	○	○	
8	北	宮原	38	1510	クリスマス子ども料理教室	小学生対象の料理教室を実施します。	12月	1	小学生	16人	19		○		○											○	
9	北	植竹	31	1510	手作り味噌の講習会Ⅰ	昔からの伝統的な味噌作りについて理解を深め、実際に大豆から手作り味噌を作る。	1月	1	成人	16人	16			○		○							○	○	○	○	
9	北	植竹	32	1510	手作り味噌の講習会Ⅱ	昔からの伝統的な味噌作りについて理解を深め、実際に大豆から手作り味噌を作る。	2月	1	成人	16人	15			○		○								○	○	○	○
9	北	植竹	35	1510	男性料理教室	男性対象で、魚のさばき方やだしの取り方等の料理教室を実施し、家庭での実践につなげる。	2~3月	2	成人男性	16人	19		○	○	○	○								○	○	○	○

平成27年度各公民館事業報告書

		件数total						総回数				参加延数total	食育に関する学習事業(事業種別コード: 1510)													
		105						119				1870														
館No. (名簿順)	区	公民館名	館内講座No	事業種別 コード	事業名	主な内容	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	三食	いっしょ に	確かな	手こぎ	食文化	推進	乳幼 児期	学齢 期	青年 期	成人 期	社年 期	高齢 期	継続		
10	大宮	桜木	36	1510	料理教室	世界の食文化を実際に調理することで楽しく学び、食への意識を高める。	1月	1	どなたでも	16人	15					○						○	○		○	
11	大宮	大宮南	7	1510	夏休み子ども公民館「親子料理教室」	親子で協力し合い楽しく料理をしながら食の安全について考える	7月	1	小学生と保護者	10組	18		○						○						○	
11	大宮	大宮南	27	1510	みそづくり教室	手前みそづくり実習を通じて、食品の安全などを考える	1月	1	どなたでも	15人	38					○										○
12	大宮	大宮中部	18	1510	料理講座	参加者で協力して季節の料理(クリスマス料理)をつくる。	12月	1	どなたでも	20人	12		○									○	○	○	○	
13	大宮	大宮北	8	1510	夏休み子ども公民館(親子料理教室)	夏休みの子供たちに、親子で料理をする機会を提供する。	8月	1	小学生全学年	10組 20名	20		○						○							○
13	大宮	大宮北	11	1510	パン作り講座	2種類のパンを作り、コミュニティを広げる場とする。	9月	1	成人	16人	14					○						○	○	○		
13	大宮	大宮北	18	1510	太巻き作り教室	切り口がきれいな太巻き祭り寿司を作り、伝統を学び、手作りの楽しさを体験する場を提供する。	2月	1	成人	20人	21					○						○	○	○	○	○
13	大宮	大宮北	21	1510	お菓子づくり教室	お菓子づくりを通して、手作りの良さと楽しさを見直すと共に参加者同士の交流を図る。	2月	1	成人	20人	16					○						○	○	○		
14	大宮	三橋	6	1510	デザート教室	手作りデザートを学び、それらの知識を生活に生かすことにより食生活を見直し、食に対する意識を高めてもらうため実施する。	5月	1	どなたでも	16人	16	○									○	○	○	○	○	
14	大宮	三橋	7	1510	そば打ち教室	参加者に「そば打ち」を学んでいただき、文化的教養(日本伝統の食文化)への関心を広げてもらうため実施する。	6月	1	どなたでも	12人	18					○						○	○	○	○	○
14	大宮	三橋	9	1510	カフェランチ教室	日清製粉グループ「フラワー手作り教室」による、「ホットビスケット」作りを開催する。参加者同士、料理を楽しみながら親睦を深めてもらう。	7月	1	どなたでも	16人	15		○			○					○	○	○	○		
14	大宮	三橋	23	1510	手作りパン教室	パンの作り方を学び、それらの知識を生活に生かすことにより食生活を見直し、食に対する意識を高めてもらうため実施する。	9月	1	どなたでも	16人	10	○										○	○	○	○	○
14	大宮	三橋	33	1510	エコクッキング講座	「エコクッキング」について学んでいただき、身近な「食と環境」について考えてもらうため実施する。	12月	1	どなたでも	30人	6					○						○	○	○	○	
14	大宮	三橋	36	1510	味噌作り教室	味噌の作り方を学び、作り方等の知識を生活に生かすことにより食生活を見直し、食に対する意識を高めるため実施する。	12月	1	どなたでも	10人	10					○						○	○	○	○	○
14	大宮	三橋	38	1510	キムチ作り	キムチの作り方を学び、作り方等の知識を生活に生かすことにより食生活を見直し、食に対する意識を高めてもらうため実施する。	1月	1	どなたでも	20人	15					○						○	○	○	○	

平成27年度各公民館事業報告書

		件数total						総回数		参加延数		食育に関する学習事業(事業種別コード: 1510)													
		105						119		1870															
館No. (名簿順)	区	公民館名	館内講座No	事業種別 コード	事業名	主な内容	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	三食	いっしょに	確かな	手ごこち	食文化	推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	継続	
16	大宮	大宮東	26	1510	男の料理教室	地域の男性が料理作りを楽しみ交流を深める。	11月	1	大宮東地区 在住の成人 男性	16人	13		○											○	
16	大宮	大宮東	31	1510	手打ちそばをつくろう	さいたま蕎麦打ちクラブの協力を得て、蕎麦づくりを行い最後に食す。	1月	1	成人	16人	10		○			○								○	
16	大宮	大宮東	33	1510	郷土料理教室	郷土の食文化「太巻き」作りを通して、作る楽しさを学び参加者の交流を図る。	2月	1	成人	16人	18		○			○								○	
17	見沼	大砂土東	20	1510	おもてなし料理教室	家庭で簡単にできる、来客へのおもてなし料理を学びます。	12月	1	成人の方	12人	11		○	○								○	○		
18	見沼	片柳	5	1510	男の料理教室	電子レンジを使った豚肉のロールステーキや地産地消の野菜を使い、簡単で健康的な料理を学びます。	5月	1	団塊世代の方	24人	14		○											○	
18	見沼	片柳	26	1510	クリスマスのおもてなし料理	クリスマスのテーブルを華やかに飾る料理をつくります。	12月	1	どなたでも	24人	22					○	○						○	○	○
18	見沼	片柳	28	1510	手づくり味噌教室	手前味噌をつくります。	1月	1	どなたでも	24人	19					○	○	○					○	○	○
18	見沼	片柳	31	1510	お手軽ランチピザづくり講座(託児付)	生ハムのサラダピザとレモン豆腐のデザートを作ります。	2月	1	どなたでも	20人	21		○				○						○	○	○
18	見沼	片柳	33	1510	太巻き祭り寿司づくり教室	季節にちなんだ祭り等を太巻きの芯に見たて本格的な太巻きをつくります。	3月	1	どなたでも	20人	20		○				○						○	○	○
19	見沼	七里	24	1510	夏休み子ども公民館「料理教室～パパと一緒におまんじゅうをつくろう」(親の学習プログラム)	親の学習プログラム事業。夏休みの小学生体験講座です。	8月	1	七里公民館 地域の小学生 と保護者	12組	29		○												
19	見沼	七里	34	1510	おいしい手作り味噌教室	おいしい手作り味噌を作ります。	1月	1	成人の方	16人	19														
19	見沼	七里	40	1510	七里発見伝 料理教室「七草粥」	埼玉県ふるさとの味伝承士による、なつかしい地域の料理を作って味わう教室です。	1月	1	成人の方	20組	12						○						○		
20	見沼	春岡	3	1510	土曜子ども公民館	友達と楽しく料理を作りながら、食育の大切さを学ぶ。	4月～3月	4	小学生	15人	51														○
20	見沼	春岡	20	1510	郷土料理講座Ⅰ	地元の野菜を使った料理を学ぶ 2種類のおやき・小松菜ケーキを作る。	10月	1	成人の方	16人	16						○	○						○	
20	見沼	春岡	24	1510	郷土料理講座Ⅱ	太巻き祭り寿司の作り方を学ぶ	11月	1	成人の方	16人	16						○	○						○	
20	見沼	春岡	29	1510	親の学習プログラム「みんなで楽しくおしゃべりしよう&親子クッキング」	子どもとの関わりについて日常感じていることを話し合うとともに、家族で料理の楽しさや大変さ、工夫することなどを一緒に体験する。	12月	1	小学生と保護者	8組	15		○											○	○



平成27年度各公民館事業報告書

		件数total						総回数				参加延数total	食育に関する学習事業(事業種別コード: 1510)												
		105						119				1870													
館No. (名簿順)	区	公民館名	館内講座No	事業種別 コード	事業名	主要内容	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	三食	いっしょ に	確かな	手こぎ	食文化	推進	乳幼 児期	学齢 期	青年 期	成人 期	社年 期	高齢 期	継続	
29	桜	栄和	11	1510	サマースクールさかわ2015(手作りパン)	食育(手作りパン)な～んちゃってたこ焼きパン	8月	1	小学生	20人	20		○						○						
29	桜	栄和	24	1510	そば打ち入門講座	地域の方を講師に迎えて実施する手打ちそば教室	12月	1	成人	12人	12					○						○	○	○	
29	桜	栄和	25	1510	うどん作りにチャレンジ	手打ちうどんを作った	12月	1	成人	12人	8					○						○	○	○	
30	桜	大久保東	23	1510	食育講座 親子で和菓子を作ろう	食育の一環として、親子で料理を作った	12月	1	大久保地区 の小学生とそ の保護者	8組	14		○			○			○			○			
32	浦和	領家	11	1510	おとこの料理教室～初夏編	男子厨房に親しむ	6月	1	成人男性	16人	11	○	○		○	○						○	○	○	○
32	浦和	領家	26	1510	おとこの料理教室～冬編	男子厨房に親しむ	12月	1	成人男性	16人	10	○	○		○	○						○	○	○	○
32	浦和	領家	27	1510	こども公民館(料理教室)①	クリスマスの料理を学び、作る	12月	1	小学生	16人	16		○		○	○			○						○
32	浦和	領家	30	1510	こども公民館(料理教室)②	ひなまつの料理を学び、作る	2月	1	小学生	16人	14		○		○	○			○						○
33	浦和	浦和南	35	1510	クリスマス お菓子づくり教室	クリスマスを前にお菓子作り実習を行う。	12月	1	成人	16人	15		○									○	○	○	○
34	浦和	上木崎	29	1510	おいしい肉まん	おやつづくり	1月	1	18歳以上ど なたでも	12人	17		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○
34	浦和	上木崎	30	1510	おしゃれな恵方巻き作り	節分に向けて家庭でも簡単に作れるおしゃれな恵方巻きを作ります。	1月	1	成人	16人	15		○			○						○	○	○	○
35	浦和	大東	10	1510	食育講座	地元食材を使った料理を作る。	5月	1	成人	20人	15					○					○	○	○	○	
37	浦和	針ヶ谷	33	1510	食育講座 パン教室	料理を通して食育に対する意識向上を図る。託児付き。	2月	2	どなたでも	24人	24					○						○	○	○	○
38	浦和	本太	38	1510	世界遺産登録された日本の食文化見直し講座「味噌作り」	今こそ、確かな「食」を家庭に	2月	1	成人	15人	15			○		○						○	○	○	○
40	浦和	常盤	23	1510	男性のための料理教室	料理を通して、食と健康づくりへの関心を高める。参加者(男性)の交流を図る。	2月	1	成人男性	24人	10		○									○	○	○	○
42	浦和	南箇	34	1510	親子公民館「親子ケーキ作り」	ケーキ作りを通して食育と親子のコミュニケーションを図る	12月	1	小学生とその 保護者	8組	16		○						○			○	○		



平成27年度各公民館事業報告書

		件数total						総回数		参加延数total		食育に関する学習事業(事業種別コード: 1510)													
		105						119		1870															
館No. (名簿順)	区	公民館名	館内講座No	事業種別 コード	事業名	主要内容	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	三食	いっしょ に	確かな	手ごこち	食文化	推進	乳幼 児期	学齢 期	青年 期	成人 期	社年 期	高齢 期	継続	
42	浦和	南箇	35	1510	スローライフ講座 「手打ち蕎麦作り教室」	そば作りを通して手作りの良さを実感し、食の大切さを学ぶ	12月	1	成人	14人	14					○					○	○	○	○	○
42	浦和	南箇	40	1510	異文化講座/ Bangladesh のカレーを作ろう!	Bangladesh 講師に Bangladesh の家庭料理を教えてください	9月	1	どなたでも	15人	13					○					○	○	○	○	
43	南	文蔵	11	1510	食育講座 「おいしく簡単!健康力アップ!の食事」	バランスのとれた料理の実習	5月	1	成人	20人	12		○	○								○	○		○
43	南	文蔵	27	1510	男の料理教室① 「ピザ作り」	料理を楽しく学ぶ男性のための講座	11月	1	成人男性	15人	12		○		○						○	○	○		○
43	南	文蔵	28	1510	男の料理教室② 「親子でシューマイ作り」	料理を楽しく学ぶ父親と子供のための親子料理講座	2月	1	父親と子供	8組	15		○		○				○		○	○			
43	南	文蔵	33	1510	家庭で作るおいしいキッシュ	フランスの食文化・生活様式にふれながら、フランスの代表的な料理であるキッシュを学ぶ。	3月	1	成人	15人	16		○		○							○	○	○	
44	南	南浦和	35	1510	快適ライフ教室①	創作和食の料理教室	9月	1	成人	16人	12		○	○		○	○								
44	南	南浦和	36	1510	快適ライフ教室②	イタリアンクリスマス料理教室	11月	1	成人	16人	18		○	○		○	○					○			○
44	南	南浦和	39	1510	手づくり食品講習会	減塩味噌作り	2月	1	成人	16人	16		○		○							○			○
45	南	谷田	29	1510	男の料理講座	男性を対象にし、食の大切さの理解を図る	3月	1	成人男性	20人	14					○						○	○	○	
46	南	六辻	30	1510	親子公民館①	親子食育料理教室	11月~12月	1	小学生とその保護者	15組	12					○			○		○	○			
47	南	西浦和	21	1510	親子食育教室(新)	親子で食育について学ぶ機会の提供	12月	1	小中学生とその保護者	12組	19	○	○	○	○		○		○						
48	南	別所	35	1510	クリスマス料理教室	若い世代の方にも受け入れられるようなクリスマス向けの料理の調理実習	11月25日	1	成人	16人	16					○						○	○	○	
50	南	善前	11	1510	大人女子講座	女性をたいしょうとした料理・アクセサリー作成講座。	6月	3	成人	16人	43					○						○	○	○	
52	緑	三室	28	1510	「太巻き祭り寿司」づくり教室	料理実習を通し、食育を学ぶ。	11月	2	成人	12人	12					○						○	○	○	○
54	緑	原山	28	1510	男性のための料理教室	健康を考えた料理を基礎から学ぶ。	12月~2月	3	成人男性	24人	31		○									○	○	○	○

平成27年度各公民館事業報告書

		件数total				総回数				参加延数total		食育に関する学習事業(事業種別コード: 1510)													
		105				119				1870															
館No. (名簿順)	区	公民館名	館内講座No	事業種別 コード	事業名	主な内容	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	三食	いっしょ に	確かな	まごころ	食文化	推進	乳幼 児期	学齢 期	青年 期	成人 期	社年 期	高齢 期	継続	
54	緑	原山	30	1510	太巻き寿司講座	恵方巻きの作り方を学ぶ。	1月	1	成人	16人	16					○				○	○	○	○		
57	岩槻	岩槻本町	1	1510	旬の食材を使った会席料理	季節の食材を使った料理を作る。	4月	1	どなたでも	24人	23					○				○	○	○	○	○	
57	岩槻	岩槻本町	10	1510	ベトナム料理教室	ベトナムの文化と料理を学びます。	10月	1	どなたでも	24人	24		○							○	○	○	○		
57	岩槻	岩槻本町	11	1510	和菓子教室	秋の食材で和菓子を作る。	9月	1	どなたでも	24人	19					○				○	○	○	○	○	
57	岩槻	岩槻本町	13	1510	洋菓子教室	家庭でもできる洋菓子を作る。	1月	1	どなたでも	20人	29			○						○	○	○	○	○	
58	岩槻	岩槻南部	7	1510	料理教室(太巻寿司)	太巻き寿司を学びます。	4月	1	どなたでも	16人	16					○				○					○
59	岩槻	岩槻北部	9	1510	プロから学ぶ京料理	旬の食材を使った京料理	8月	1	成人	20人	18					○				○	○				○
59	岩槻	岩槻北部	16	1510	郷土料理	太巻きずしをつくる	11月	1	成人	16人	19					○				○	○				○
59	岩槻	岩槻北部	20	1510	男のキッチン	簡単料理	2月	1	成人男性	16人	10					○				○	○				○
59	岩槻	岩槻北部	21	1510	ひな祭りおもてなし料理	簡単料理	2月	1	成人	16人	18					○				○	○				○

## 4 公立小・中学校の食育取組状況

### ○小学校

【西 区】	馬宮西小学校	宮前小学校	指扇北小学校		
【北 区】	日進小学校	大砂土小学校	大宮別所小学校		
【大宮区】	大宮東小学校	大宮北小学校			
【見沼区】	大砂土東小学校	大谷小学校			
【中央区】	与野八幡小学校				
【桜 区】	土合小学校	大久保小学校			
【浦和区】	木崎小学校	本太小学校	仲町小学校	上木崎小学校	岸町小学校
	針ヶ谷小学区	大東小学校	常盤北小学校		
【南 区】	大谷場東小学校	西浦和小学校	文蔵小学校	沼影小学校	浦和大里小学校
	善前小学校	向小学校			
【緑 区】	三室小学校	道祖土小学校	中尾小学校	大牧小学校	芝原小学校
【岩槻区】	岩槻小学校	河合小学校	西原小学校	城南小学校	

### ○中学校

【北 区】	植竹中学校	泰平中学校	土呂中学校
【見沼区】	春里中学校	七里中学校	
【中央区】	与野東中学校	与野南中学校	
【桜 区】	大久保中学校	田島中学校	
【浦和区】	浦和中学校		
【南 区】	白幡中学校	内谷中学校	
【緑 区】	東浦和中学校	美園中学校	尾間木中学校
【岩槻区】	柏陽中学校		

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan								Do			Check			
		計画の目標					ライフステージ			平成27年度			成果・課題等			
		5つの「食べる」 三食	確かな目 いっしょ	まごころ 文化	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続		実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
馬宮西小学校	体験活動を取り入れた食育の推進	◎		○	○			○				継続	西区		・グリーンピースのさやむき(2年生5月) ・そらまめのさやむき(1年生6月) ・とうもろこしの皮むき(3年生7月) ・学校農園での食材の栽培活動(通年)	・食材への関心が高まる
宮前小学校	・体験活動を取り入れた食育の推進 ・交流給食	◎		○	○			○				継続	西区	・1学年133名1回 ・2学年130名、特別支援学級24名1回 ・全学年902名1回	・グリーンピースのさやむき(1学年) ・とうもろこしのさやむき(2学年、特別支援学級) ・交流給食(全学年)	・グリーンピースのさやむきやとうもろこしの皮むき体験を通して食材に親しみを持ち、食べようとする意欲が増した。 ・交流給食では、児童に食事の際のマナーや会食の仕方等を指導することで、他学年の児童と楽しく食べることができた。また、残菜もいつもより少なかった。
指扇北小学校	・交流給食 ・体験活動を取り入れた食育の推進	○	◎	○	○	○	○	○				新規	西区	全児童495名	・同学年交流給食・セレクト給食 ・異学年交流給食・お別れ給食 ・リクエスト給食 ・ピクニック給食(給食を弁当箱に入れて校庭で食べる) ・栽培活動(1.2.3.5.6年)	給食を楽しみにする児童が多くなった。体験活動を取り入れることで、苦手な食べ物も食べようとする児童が多くなった。 学校ファームを利用して栽培活動をしているが、教職員だけでは管理が難しい。
日進小学校	体験活動を取り入れた食育の推進		○	○	○			○				継続	北区		・にこにこ給食(交流給食)・・・6.11月 ・さわやかランチ(テラスでの会食)・・・5～10月 ・体験活動 5月グリーンピースのさやむき(2年生) 6月空豆のさやむき(3年生) 7月とうもろこしの皮むき(1年生) 1月くわいの芽取り(1年生)	・にこにこ給食では、会食・ゲームなどを通して、異クラス、または異学年同士の交流が深まった。年2回の実施ではなく、回数を増やせるとよい。 ・体験学習では、給食の食材にふれることにより、苦手なものでも食べてみようという意欲につながった。
大砂土小学校	体験活動を取り入れた食育の推進				○	○	○	○				継続	北区	1年:1回 2年:1回 3年:1回 4年:1回	・そらまめのさやむき(4年生、6月) ・くわいの芽かき(3年生、12月) ・グリーンピースのさやむき(2年生、5月) ・トウモロコシの皮むき(1年生、7月)	体験活動を取り入れることで、食べ物に対して親しみを持ち、苦手な食べ物でも食べようとする意欲ができた。
大砂土小学校	異学年交流給食		◎					○				継続	北区	児童全員 (年に2回)	・年に2回(6月、12月)、1年～6年生で構成した集団で、給食をとり交流を図る。	心身の発達の違いを認識し、それぞれの立場を理解し、協力して活動する態度を養うことができた。上の学年は、下の学年の面倒を見たり、レクを考えたりする。
大砂土小学校	地元シェフによる学校給食				○	○	○	○				新規	北区	全児童:1回	平成27年度の新規の取組として、児童の食への関心をより高めるために、「地元シェフによる学校給食」を10月19日に実施。	シェフの話を聞き、実際に料理を味わうことで、食への興味・関心を高められた。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度								
		三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)
大宮別所小学校	体験活動を取り入れた食育の推進	○											継続	北区	1年生119名 2年生131名 全児童755名 各1回	・グリーンピースのさやむき(1年生) ・トウモロコシの皮むき(2年生) ・異学年交流給食(縦割り給食)	さやつきのグリーンピースをむいた。トウモロコシの皮は初めてむいたという児童が多く食材にふれる貴重な経験となっている。縦割り活動の一環としてなかよし給食を行った。
大宮別所小学校	地元シェフによる味覚の授業			○									新規	北区	4年生115名 1回	総合的な学習の時間の食に関する単元にて児童の食への関心をより高めるために、「地元シェフによる味覚の授業」を2学期に実施した。	シェフの話聞き、実際に料理を味わうことで、児童の「五感を味わって食べる」という意識が高まった。
大宮別所小学校	わくわくモーモースクール												新規	北区	全児童755名 1回	・成牛とのふれあい ・子牛への哺乳体験 ・酪農家の話 ・牛乳ができるまで ・ミルクカー搾乳見学 ・バターづくりの体験や説明 11月16日(月) 校庭、体育館、教室	牛乳の生産に関する行程や食を生産する方々の思いを知り、食への知識と感謝の気持ちを育む活動となった。また、牛との直接のふれあいを通して、命の尊さや牛乳や酪農に対する理解を深め、食を支えている人々の心を学ぶことができた。
大宮東小学校	家庭地域との連携を図り、食育を推進する活動	◎											新規	大宮区	全児童・全家庭 1回	対象:全児童・全家庭 実施日:夏季休業中 場所:各家庭 内容等:「家族で作ろう朝ごはん」の実施児童が、学校で学習した食に関する内容を生かして、また、発達段階に応じて、家族と一緒に朝ごはんを作る。学校で配付したシートに記録し、2学期に教室掲示した。	シートに書かれた児童や保護者の感想から、「共食の楽しさを感じる」「朝食への関心が高まる」「児童が調理を好きになる」などの効果が見られた。
大宮東小学校	教科との関連を図る食育の推進												新規	大宮区	5年児童1回	対象:5年全児童 実施日:平成27年7月2日(木) 場所:集会室 内容:学校給食で食べる米を生産している生産者から、米づくりについての話を聞いた。	社会科学習のねらいである米の生産についての理解を深め、食育の観点からは、自分たちの食糧の生産に対して興味・関心を持つことができた。
大宮東小学校	教科との関連を図る食育の推進	◎											新規	大宮区	6年児童1回	対象:6年全児童 実施日:平成27年12月(児童の取組) 平成28年2月(給食での実施) 場所:家庭、学校 内容:家庭科学習で学んだ1食分の献立作りを生かして、家庭の協力を得て、児童が給食献立を作成した。バランスよく給食で実施可能な4献立選び、学校給食で実施した。	家庭の協力を得ることで、家庭の食に関する関心が高まるとともに、家庭で実施している献立を学校給食で実施し、広めることができた。児童が考えた献立を給食で実施することにより、栄養バランスのよい食事の実践的な理解につながった。
大宮北小学校	体験活動を取り入れた食育の推進												継続	大宮区	1年生 2年生	・グリーンピースのさやむき(2年生:5月) ・とうもろこしの皮むき(1年生:7月)	体験活動を取り入れることで、食べ物に対して親しみをもち、苦手な食べ物でも食べようとする意欲ができた。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do					Check		
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度					成果・課題等		
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)			
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期					
大宮北小学校	なかよし給食	◎						○				継続	大宮区	全校児童 2回	なかよし学級(1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生)で、給食の準備から食事、片付けを行った。昼休みには、お楽しみ会を実施した。	他学年との交流でコミュニケーション力が身についた。心身の発達の違いを認識し、それぞれの立場を理解し、協力して活動する態度を養うことができた。
大砂土東小学校	児童の考えた給食の提供	○	○					○	○			継続	見沼区	5回	6年生の家庭科で、1食分の献立を考える学習において、給食の献立を考える。3学期の給食に実際に取り上げることで、全校児童の食に対する関心が高まるようにする。	6年生が考えた献立を提供することにより、同学年では食に対する理解が深まり、低・中学年では家庭科の学習に対する期待が高まった。児童の思いを忠実に献立に反映させることと調理作業とのバランスが課題である。
大砂土東小学校	野菜の皮むき		○	○				○	○			継続	見沼区		給食で使用する野菜の下処理を手伝うことによって、その野菜に関心を持ち、食べる意欲が高まるようにする。 5月にグリーンピースのさやむき(1年) 7月にとうもろこしの皮むき(2年)	児童が苦手とする野菜の喫食率が上昇した。グリーンピースは敵しいが、とうもろこしについては地場産物を活用できると、さらに効果的だと思われる。必要量の確保が課題である。
大谷小学校	地元シェフによる学校給食							○	○	○		新規	見沼区	全児童	・創立40周年記念事業の一環として、「地元シェフによる学校給食」を2学期までに実施する。	シェフの話を聞き、食材そのものの味を大切にフランス料理を味わった。食べることの楽しさや食を大切にすることが高まった。
大谷小学校	給食週間の食育推進活動							○	○	○		新規	見沼区	全児童	・給食の献立作成 優秀献立を実際に給食として提供。(高学年) ・調理員への感謝の手紙(中学年) ・絵本の読み聞かせ(食に関するテーマ)(低学年)	家庭科と連携し献立を立てることで、栄養バランスに対する意識が高まった。
大谷小学校	体験活動を取り入れた食育の推進							○	○	○		継続	見沼区	5年生	5年生で米作り体験活動を行う。4月に米作りについてオリエンテーション・5月に見沼たんぼで田植え体験・9月稲刈り・10月調理実習・11・12月まとめ発表	体験活動で収穫した米を家庭科の調理実習して食べたことで、食に対する関心が高まった。
与野八幡小学校	体験活動を通じた食育の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○		継続	中央区		めしあがレターを通しての食育の推進	児童の食への関心が高まり、残食が減少し、感謝の気持ちを高めることができた。
土合小学校	教職員食育研修							◎	○			新規	桜区	50名	対象 教職員 実施日 12月25日 場所 給食室 内容 給食研修	
土合小学校	体験活動を取り入れた食育の推進							○	○			継続	桜区		グリーンピースのさやむき(2年生5月) たまねぎ(3年生6月) じゃがいも(6年生6月) とうもろこし(2年生7月)	体験を通して、食材への関心や感謝の心が養われた。
土合小学校	交流給食	◎								○		継続	桜区		仲よしグループで異学年と給食を食べる。	他学年との交流で楽しく食べるためのマナーやコミュニケーションの力がついた。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)		取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)			
		三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化											
大久保小学校	幸せを運ぶスマイルキャロット		○			○		○					継続	桜区		・全校児童 ・毎月19日(食育の日) ・各クラスの食缶に型抜きした人参を入れ、当たった人に給食委員会から認定証をおくる。	給食への興味関心を高めることができている。
大久保小学校	バースデー給食		○			○		○					継続	桜区		・全校児童 ・毎月 ・ランチルーム ・誕生月の児童が集まり、給食委員会でお祝いをする。	ランチルームで他学年の仲間と食べることで、ハレの日のよさを味わいながら交流をしている。
大久保小学校	体験活動を取り入れた食育の推進		○	○	○	○		○					継続	桜区		①グリーンピースのさやむき 2年生・5月・ランチルーム・体験活動のみ ②そらまめのさやむき 1年生・6月・ランチルーム・体験活動と絵本の読み聞かせ ③とうもろこしの皮むき 3年生・7月・教室・体験活動と人形作り	五感を使った体験活動を取り入れることで、食べ物に対して親しみを感じ、給食の時間には積極的に食べようとする姿が見られた。
木崎小学校	体験活動を取り入れた食育の推進					○	○	○		○			新規	浦和区		・グリーンピースのさやむき(1年生) ・トウモロコシの皮むき(2年生) ・ランチルーム給食 ・なかよし給食(異学年交流給食)	体験活動を取り入れることで、食べ物に対して親しみをもって進んで食べる姿が見られたり、楽しく交流し食事をする姿が見られた。
本太小学校	体験活動を取り入れた食育の推進					○	○	○		○			継続	浦和区	1年生127名 2年生122名 1回	・トウモロコシの皮むき(1年生) ・グリーンピースのさやむき(2年生)	さやつきのグリーンピースをはじめてみた。トウモロコシの皮は初めてむいたという児童が多く食材にふれる貴重な経験となっている。
本太小学校	交流給食		◎							○			継続	浦和区	全児童 785名 1回	・異学年交流給食 ・ランチルーム給食	異学年のペア学級と給食を食べ、交流することで互いを思いやり好ましい人間関係を育てることができた。
仲町小学校	体験活動を取り入れた食育の推進		◎			○	○	○		○			新規	浦和区	1年生・2年生	・グリーンピースさやとり ・とうもろこし皮むき	児童の食への関心が高まり、食に携わる人たちを知ることができた。
上木崎小学校	交流給食		◎							○			継続	浦和区		6月ランチルーム・10月ランチルームと校庭、仲良しグループで異学年と一緒に給食や弁当を食べる	他学年との交流で楽しく食べるためのマナーやコミュニケーションの力がついた。
上木崎小学校	給食時間のお便りを通した食育の推進							○		○			継続	浦和区		給食の時間に給食に関連したお便りを配付し、教室で担当者が読む。その後掲示する。	食に関する関心が高まった。
岸町小学校	体験活動を取り入れた食育の推進		◎					○		○			継続	浦和区		・とうもろこしの皮むき(1年生)7月 ・グリーンピースの皮むき(2年生)5月 ・学園内での栽培活動(通年)	体験活動を通じ、食材への関心や食への感謝の心が養われた。体験活動を行った学年だけでなく、学校全体で残葉がとても少なくなった。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan								Do			Check				
		計画の目標					ライフステージ			平成27年度			成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学年期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進												
岸町小学校	シェフによる学校給食	○	○	○	○	○	○						新規	浦和区		地元シェフによる学校給食の実施	シェフの話を聞き、食事を楽しく食べることの大切さや「五味五感」を感じながら食べることを知り、食への関心が高まった。
針ヶ谷小	体験活動を取り入れた食育の推進				○	○	○	○					継続	浦和区		1年生 グリーンピースのさやむき 2年生 そらまめのさやむき 3年生 とうもろこしのさやむき	体験活動をすることで心を込めて食べようとする気持ちや苦手な食べ物も食べようとする意欲が出た。
針ヶ谷小	野菜の栽培・収穫				○	○		○					継続	浦和区		学校農園では毎年野菜を育てている。 1年生 さつまいも 2年生 大根 3年生 大豆→豆腐作り 4年生 ゴーヤ 5年生 米 6年生 じゃがいも	野菜を育てることで季節感を味わったり、食への興味を持ったりと意識が高まった。
針ヶ谷小	給食時間における食に関する指導	○	○	○	○	○	○	○		○			継続	浦和区	全児童185回	本校児童を対象とし、給食に関する資料を配布し、放送で読み上げる。	日々、情報を発信し続けることにより、児童の食への関心が高まった。
大東小学校	ペットボトル米作り(農業体験)		○	○	○	○	○	○					継続	見沼区		第5学年で米作りの体験活動を行う。5月にペットボトルでの米作りを始め、総合的な学習の時間に取り組む。稲が実るまでの様子を観察し、世話をすることを通じて、自然の恵みに感謝させるようにしたい。併せて、日本の食文化である米についても理解を深める。 苗作り・植え付け(5年生)【5月】 収穫(5年生)【10月】	自らの手で植えた稲が実り、収穫の喜びを感じることで、米作りや食育への理解が深まった。
大東小学校	考えよう 自分の食生活	◎	○				○	○					継続	浦和区		朝食の欠食をなくし、のぞましい食事内容にするため、自らの食生活について考える学習に取り組む。併せて、早寝、早起き、朝ご飯が大切であることを自覚させていく。(10月～3月) 朝食の大切さ(5年生)【10月】 調べ学習(5年生)【11月】 発表(5年生)【2月】	献立作り等の活動を通して、栄養に関する知識も深まり、日常の食生活への理解と生活改善への関心が高まった。
常盤北小学校	体験活動を取り入れた食育の推進		○		○	○		○					継続	浦和区		・各学年での給食に関する作品づくり(給食週間) ・ランチルーム給食(異学年交流給食) ・本部職員・調理員との会食 ・グリーンピースのさやむき(2年生) ・とうもろこしの皮むき(3年生)	会食を通して、さまざまな人との関わりをもてる機会をつくり、マナーやコミュニケーション力の向上につながっている。 体験活動を通じ、食材への関心や食への感謝の心が養われた。
大谷場東小学校	体験活動を取り入れた食育の推進			○	○	○		○					継続	南区		・とうもろこしの皮むき(1年) ・グリーンピースのさやむき(2年) ・異学年交流給食(全学年) ・バイキング給食(5・6年生)	・体験活動を取り入れることで、食への興味をもち、苦手なものも食べようとする意欲が高まった。 ・交流給食やバイキング給食で、食事のマナーやコミュニケーションについて学べた。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。



平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check		
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度			成果・課題等		
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所		参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進												
西浦和小学校	体育活動を取り入れた食育の推進					○	○						継続	南区	1学年145名 1回 2学年159名 1回 3学年164名 回	1 対象:1年児童 実施日:5月 場所:1年教室 内容等:グリーンピースのさやむき 2 対象:2年児童 実施日:6月 場所:2年教室 内容等:そらまめのさやむき 3 対象:3年児童 実施日:7月 場所:3年教室 内容等:とうもろこしの皮むき	生産者、給食を作る調理員さんへの感謝の気持ちが高まり残食が少なくなった。
西浦和小学校	親子料理教室		○			○	◎	○					継続	南区	1年生～6年生の親子52名(1回)	対象:1年生～6年生の親子 実施日:平成27年11月21日(土) 場所:家庭科室 内容:給食献立の調理実習、試食(カレーパン、じゃがチー揚げ)	アンケート結果より、親子で初めて調理をする機会をもてて良かったという意見や給食の献立を実際に作ってみて食材や味付けの工夫を知ることができて良かった等の意見がみられ食育に対する関心が高まった。
文蔵小学校	給食週間(給食委員会を中心に給食への関心を高める)	○	○	○	○	○	○	○					継続	南区	全児童	・1年「給食カルタ」の作成 ・2年「調理員さんへの感謝の手紙」 ・3年「野菜たっぷりメニュー」の作成 ・4年「お弁当をつくろう」 ・5年「ふるさと埼玉食自慢」 ・6年「1食分の献立を考える」	各学年が課題やテーマを決めて実施したことで、食べ物を大切にすることや給食に携わる人たちへの感謝の気持ちを育むことができた。
文蔵小学校	学級活動における食育の推進		○			○	○						継続	南区	3学年	・食事のマナーについて考える。	食事を食べる時のマナーを守る意義を伝えることできた。
文蔵小学校	体験活動を取り入れた食育の推進		○			○	○						継続	南区	1,2学年	・グリーンピースのさやむき(2年生) ・トウモロコシの皮むき(1年生) ・そらまめのさやむき(1年生)	体験活動を通して、食べ物へ興味・関心を持つことができ、児童が苦手とする野菜の喫食率が上昇した。野菜も地場産物を活用できると、さらに効果的だと思われる。
文蔵小学校	野菜の栽培・収穫		○	○	○	○							継続	南区	2学年	・さつまいもの栽培、収穫	自らの手で植えたさつまいもを収穫し、給食で提供することで、食べ物の興味・関心が高まり、喫食率が向上した。
沼影小学校	体験活動を取り入れた食育の推進					○	○	○	○				新規	南区		とうもろこしの皮むき(2年生)新規 さつまいもの栽培(2年生)継続 バケツ稲の栽培(5年生)継続 くわいの展示と紹介 新規	とうもろこしの皮むきは、初めて取り組んだという児童が多く、食材に触れる貴重な経験となった。実物のくわいは初めて見るという児童が多く、興味を示していた。食材に触れる貴重な経験となった。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check		
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度			成果・課題等		
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所		参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
沼影小学校	教科との関連を図る食育の推進	○		○	○	○	○						新規	南区		「バランスよく食べよう」(2年生・特活)給食の献立もとに、自分たちで3色分けを行い、バランスよく食べることの大切さを考えさせた。パワーアップメニューの作成(5年生・総合)給食の栄養について学び、自分たちでテーマを決め、パワーアップメニューを考案し、実際に給食に採用した。「バランスの良い献立を考えよう」(6年生・家庭科)家庭科で学んだことを活かし、1食分の献立を考え、在校生に送りたいメニューとして実際に給食に採用した。	好き嫌いが形成されつつある低学年のうちに、バランスよく食べる大切さを教えることで、早いうちに食べ方の目標をもたせることができた。好き嫌い克服しようとする意識を持たせることができ、実際に給食の食べ方にもつながっていた。児童が考えた献立を実際に出すことで、食に対する意識が深まり、高学年では、家庭科の学習に対する期待が高まった。目的に沿った献立を考えるためには、少なくとも2時間の授業時間が必要であった。
浦和大里小学校	交流給食		◎				○						継続	南区	全児童839名 1回	対象:全児童 実施日:5・6月 場所:ランチルーム 内容:異学年グループで一緒に給食を食べる。	他学年との交流を通して、食事のマナーやコミュニケーション力がついた。
善前小学校	体験活動を取り入れた食育の推進				○	○		○					継続	南区		・トウモロコシの皮むき(2年生 7月) ・くわいの芽取り(1年生 12月)	トウモロコシの皮は初めてむいたという児童が多かった。くわいの芽取りはもちろん、くわいを初めて見たという児童も多く食材にふれる貴重な経験となっている。
向小学校	給食時間のお便りを通した食育の推進	○		○	○	○	○						継続	南区	535名 185回	給食の時間に給食に関連したお便りを配付し、教室で担当者が読む。その後掲示する。	食に関する関心が高まった。
向小学校	交流給食		○				○	○					継続	南区	535名 2回	縦割り学級で異学年と一緒に給食や弁当を食べる	他学年との交流で楽しく食べるためのマナーやコミュニケーションの力がついた。
三室小学校	本とのコラボ給食の提供		○		○			○					継続	緑区	全児童 (4回)	絵本に出てくる料理を給食で再現し、給食の時間の放送に絵本の読み聞かせをする。	絵本に出てくる料理を実際に目で見て食べることにより、食と読書への関心が高まった。
三室小学校	児童の考えた給食の提供	○	○				○	○					新規	緑区	6年生 (4回)	6年生の家庭科の授業で、献立を考える学習において、一人ひとり食分の給食の献立を考え、グループワークをし、クラスで1つ代表の献立を作成し3学期の給食で取り上げる。	栄養素について考えることで、食材や生活改善への関心と日常の食生活への理解が高まった。
三室小学校	体験活動を取り入れた食育の推進				○	○		○					継続	緑区	1年生(1回) 2年生(1回) 3年生(1回) 4年生(1回)	・グリーンピースのさやだし(3年生) ・そらまめのさやだし(2年生) ・えだまめのさや取り(4年生) ・とうもろこしの皮むき(1年生)	給食の食材に触れることにより、苦手なものでも食べてみようという気持ちをもつことができ、生産者や給食を作る調理員さんへの感謝の気持ちが高まった。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進												
道祖土小学校	体験活動や異学年との交流による食育の推進				○	○		○					継続	緑区		・5月グリーンピースのさやむき(2年生) ・7月トウモロコシの皮むき(1年生) ・ランチルームでの異学年交流給食(各学期1回)	体験活動では、食べ物への興味関心が高まり、苦手な食べ物でも食べようとする意欲がでた。 他学年との交流では、楽しく食べるためのマナーを意識することができ、互いの食事量から心身の発達の違いを認識できた。
中尾小学校	体験活動を取り入れた食育の推進				○	○	○	○					継続	緑区	1学年 120名 1回	とうもろこしの皮むき	観察しながら皮むきをし、ワークシートにまとめることで、その特徴を自分たちの言葉でとらえることができた。また、給食で食べる際に、食材の変化を感じ取ることができた。
中尾小学校	地元シェフによる学校給食		○		○	○	○	○					新規	緑区	全児童 1回	地元シェフが考えた地場産物を使用した献立を提供。当日の朝会で、シェフの講話を聞く。代表学級で、シェフや地域の農業委員との会食をする。	特別な給食を食べる期待感や彩りの美しさから、楽しんで食べることができた。食材の取り合わせや味付けの工夫などプロの技を知ることで、和食に対する興味・関心が高まった。
大枚小学校	野菜の栽培・収穫					○	○						継続	緑区	1~4年 4回 5年 5回 6年 3回 (植付・収穫) 全児童517名	・学校ファームの取組は、毎年継続。本年度で7年目となる。学校ファームの収穫時期に併せて、給食でも同じ食材を取り入れることを通して季節感を味わわせる。その作物の紹介やよさを知らせることで、旬のよさを感じられるようにする。 ・野菜の栽培活動(植付・収穫) ・収穫した野菜を、給食で食材として使用し、旬を味わう。 1年 5月 なす 9月 ブロッコリー 2年 5月 ミントマト・キュウリ等 9月 大根・白菜等 3年 5月 枝豆 9月 大根 4年 5月 落花生 9月 キャベツ 5年 5月 トウモロコシ 1月 チコリ 3月 ジャガイモ 6年 6月 ジャガイモ収穫 9月 大根	・学校ファームの野菜の栽培体験によって、自主性が身に付き、仲間とともに考え行動していく中で、協調性が生まれた。 ・野菜を育てることを通して、野菜と人のかかわりや農業が盛んな地域であることの理解を深めた。 低学年の生活科では、学校ファームの体験が、学習に大いに役立った。 ・学校ファームの野菜が給食に出ることで、収穫の喜びを感じていた。 ・学校職員、児童だけでは管理が難しいので、農家の方や保護者の協力が必要不可欠である。
芝原小学校	体験活動を取り入れた食育の推進		○	○	○	○	○						継続	緑区	1,2年全児童 2回	給食で使用する野菜の下処理を手伝うことによって、その野菜に関心を持ち、食べる意欲が高まるようになった。 5月にグリーンピースのさやむき(2年) 7月にとうもろこしの皮むき(1年)	児童が苦手とする野菜の喫食率が上昇した。
芝原小学校	児童の考えた給食の提供	○	○			○	○						継続	緑区	4回	6年生の家庭科で、1食分の献立を考える学習において、給食の献立を考えた。3学期の給食で実際に提供することによって、全校児童の食に対する関心が高まるようになった。	献立作り等の活動を通して、栄養に関する知識も深まった。自分が考えた献立が実際に給食に出るということは、児童にとって魅力的で、いきいきと家庭科の学習に取り組んでいた。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do					Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度					成果・課題等				
		三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)
岩槻小学校	他学年との交流による食育の推進	○	○	○	○	○	○	○						継続	岩槻区		全学年 各教室にて他学年との交流による交流することによる食育の推進 11月2日～11月13日	高学年が低学年の手本となるため、活動を通して望ましい食習慣を身につけることができた。また、好ましい人間関係を育成することができた。
河合小学校	体験活動を通じた食育の推進	○	○	○	○	○	○	○						継続	岩槻区		5月:グリンピースの皮むき 1年生 6月:そらまめのさやむき 2年生 7月:とうもろこしの皮むき 3年生	児童の地場産物への関心が高まり、野菜の残量が減少した。
西原小学校	学校給食をとおして日本の食文化を継承する試み					○	◎	○						継続	岩槻区		岩槻区のいわつき米地産の会から地場産米を購入し学校給食に取り入れている。伝統的な日本の米食と和食文化について、毎日の学校給食をとおして、地場産物の活用による地域社会との連携による食育の推進。(給食指導・通年)	社会科の学習において、生産者をゲストティーチャーとして招き、教科における食育の視点を取り入れた授業実践や教科と学校給食を関連付けて食に関する指導を充実させることができた。
西原小学校	横断的学習指導による食への理解と実践					○	◎	○						継続	岩槻区		本年度は、教育環境を生かし、家庭と連携した食生活の改善と学力向上を図る取組を全校をあげて推進してきた。中でも、給食の時間での給食指導は児童にとって分かりにくいことが多く「給食スタンダード」を作り上げた。どのクラスでも、同じ約束で給食の時間にしてきた。	学校給食は学級活動の一環として営まれ、同一の指導方法で、児童も慣れてきた。学校全体として継続指導の中で、「給食スタンダード」に対好き腰痛る理解ができた。
城南小学校	ヴォーノ・シェフ給食					○	◎	○						新規	岩槻区	全児童1回 424名	対象:全校児童 実施日:平成27年1月21日 内容等 ・平成26年度実施の『地元シェフによる学校給食』担当シェフによる、献立監修、助言。 ・地元生産農家のイタリア野菜の使用。 ・実施当日は、シェフ、野菜生産農家代表を招待した給食見学、児童集会の開催。	・実施日の残菜率が低く、児童の関心が高かったことが分かった。 ・シェフ、生産農家との計画的な打合せの持ち方について検討する。
植竹中学校	学校給食を通して郷土の味を学ぼう	○	○			○	○	○						継続	北区	・月1回(食育の日の献立、給食委員会) ・年1回(ツール・ド・フランス献立)	・食育の日の献立には地場産物の活用や郷土料理、世界の料理を実施(全学年) ・ツール・ド・フランスにちなんだ料理の実施(全学年) ・給食委員会と連携し、毎日の給食に関する放送資料の作成(給食委員会)	・月に1度の食育の日の献立に旬の食材や地場産物を活用したことで、給食時間にクラスで食の話題をするクラスが見受けられた。 ・ツール・ド・フランス献立は、食文化を知り、興味を高めることができた。 ・給食委員と連携して一口メモの掲示物作成や、給食週間の発表を行い、興味を持つ良い機会を作ることができた。
植竹中学校	試食会	○	○			○	◎				○			継続	北区	・年1回(9月)	栄養教諭からの講話を実施。学校給食の意義を理解してもらうとともに、家庭での食育の推進を促した。	学校給食の意義や朝食の大切さについて伝えた。試食会当日のメニューは、世界の料理を提供したことで、本校の給食の取組を感じてもらえる良い機会となった。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do					Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度									
		5つの「食べる」	食育の推進	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)		成果・課題等			
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化														
泰平中学校	地元シェフによる学校給食	○		○	○			○					新規	北区	530人	学校給食の調理に地元のシェフを招いて給食を作る。使用する食材は地場産物を活用して行う。この事業により、児童が学校給食をとおして食べることへの興味・関心を持ち、好き嫌いなく食べようとする児童を育成する一助とする。平成27年11月5日実施	日常の給食とは違った本格的なフランス料理を食べることで、世界の料理に対して興味・関心を高めることができた。	
泰平中学校	授業における食育の推進	◎	○	○	○	○	○	○					新規	北区		・生徒給食委員会における掲示「和食アンケート」(1～3年生委員会活動) ・牛乳協会主催の出張授業・調理実習(1～3年生委員会活動) ・生徒作成献立の実施(1年生家庭科)	給食時間のマナーが向上し食器の破損が少なくなった。 給食への興味関心が高まり、残りが少ない日が多くなったが、数値としてはまだとらえられていない。学校全体で食育に取り組んでいきたい。	
土呂中学校	さいたま市立土呂中学校			○	○	○	○	○						北区	・全校 ・28人 ・160人	・残食「0」週間(全校での取り組み) ・食材の皮むき(給食委員会) ・調理実習(家庭科)	・給食を残さず食べようという意識が高まった。 ・食材を大切にする意識が高まった。 ・素材のおいしさを感じさせることができた。	
春里中学校	特別支援学級による体験活動学習				○	○	○	○					継続	見沼区	特別支援学級生徒	教室		
春里中学校	学校保健委員会	○	○		○	○	○	○					新規	見沼区	保健委員、教職員(学年主任、保健担当、管理職)、保護者	3学期 図書室 朝食についての講話	対象人数が少ない また、毎年行うわけではないので、定期的に啓発・発信を続ける必要がある	
春里中学校	給食委員会におけるキャンペーン活動	○	○					○					継続	見沼区	全校生徒 3回実施	給食委員会によるポスター掲示・呼びかけを行い、毎日各クラスの残食率を掲示し、期間中の上位5クラスには賞状を贈呈	残菜が減った。 給食の準備が早くなり、食べる時間が確保できるようになった。 しかし、期間中はがんばっても期間が過ぎてしまうともとにもどってしまう。	
春里中学校	生徒作成献立		◎		○			○	○				継続	見沼区	2年生生徒	1学期に2年生が家庭科で作成した献立を給食で実施(2～3学期各クラス1名選出)取り入れる際は○○さんの献立として献立表や給食だよりでお知らせした。	実際に給食で取り入れられるということもあり、熱心に取り組んでいた。	
春里中学校	試食会	○	○		○	◎				○			継続	見沼区	保護者	今年度は、6月に給食試食、食に関する講話	保護者の方と生徒の普段の様子を話せるよい機会となった。	
七里中学校	給食試食会	◎	◎	○	○	◎		○					継続	見沼区	保護者40名 1回実施	6月17日に実施 給食の試食とともに、「地産地消」や栄養面、給食委員会の取組等も含め、栄養士の講話を行う。	七里中学校ならではの工夫や、給食への思い、食育について広く、周知することができた。	

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do				Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度				成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
七里中学校	給食委員会の取組	◎	◎		○	○	◎	○					継続	見沼区	全校生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の時間を「食育」の場ととらえ、楽しく、おいしくいただけるよう準備、片づけ、マナー等について全校統一で行えるようにする。</li> <li>給食週間の取組の一つとして、残食ゼロキャンペーンを実施する。給食に携わるすべての方に感謝の気持ちを表すために、「残食ゼロ」を目指し、全学級で取り組む。上位3クラスを表彰し、給食リクエスト権を給食委員長より贈呈する。リクエスト献立は3学期の献立に反映される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食委員がリーダーとなり、時間とおり準備が始まるよう声掛けを行い、給食着やテーブルクロス等の管理を行い、給食が円滑に行えるように主体的に取り組んだ。</li> <li>生産者、調理者他、多くの方のおかげで安全でおいしい給食をいただけていることを、実感できた。</li> </ul>
与野東中学校	給食試食会の実施				○	○	○	○					継続	中央区	保護者70名	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の試食</li> <li>地元野菜生産者の講演</li> <li>味覚検査の体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者に給食を食べてもらうことで給食や食への関心を深めた。また、手洗いチェッカーを使用し手洗い検査をすることで衛生に対する意識も高められた。さらに、味覚検査や生産者の話を聞くことで、地元野菜の理解を深め、生産者の苦勞を知り、家庭での食の重要性を理解させた。</li> </ul>
与野南中学校	体験活動を取り入れた食育の推進				○			○					継続	中央区	40名	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容1:学校ファームにおいて、さつまいもやブロッコリーの栽培、収穫を行い、収穫した作物を学校給食食材として活用する。対象:給食委員会の生徒 実施日:年間を通して 実施場所:南中ファーム</li> <li>内容2:とうもろこしの皮むき 対象:特別支援学級の生徒 実施時期:7月 実施場所:教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身が野菜を栽培し、その野菜を学校給食に取り入れることで、苦手な食材を克服できた生徒も見られた。</li> <li>野菜を作る人の思いを知り、食物の大切さを考えることで、感謝の気持ちを育むことができた。</li> <li>とうもろこしの皮を使用してとうもろこし人形を作り、個性的で楽しい作品ができた。普段お世話になっている先生にプレゼントして交流を持つことができた。</li> </ul>
与野南中学校	食に関する指導の充実	◎				◎		○					継続	中央区	350名	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容1:学校保健委員会での、生活習慣改善についての講演 対象:保健委員会生徒、保護者、関係教職員 実施日:平成27年12月</li> <li>内容2:特別活動授業 対象:1、2年生 実施期間5月～10月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒、保護者が学校全体の生活の問題点を把握することができ、前向きに改善しようという意欲を持つことができた。</li> <li>マナーを守って食べること、食べられることに感謝することへの意識が高まり、給食の残棄が減少した。</li> </ul>
大久保中学校	給食試食会	○	○			◎		○	○				継続	桜区	本校保護者(年1回) 学校評議員(年2回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年保護者対象で、本校学校給食の概要を説明した後、試食。</li> <li>1、2学期に実施の学校評議員会時に給食を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食への理解が深まった。</li> </ul>
大久保中学校	食育の日					○	◎	○					継続	桜区	全校生徒(11回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回、旬の食材や地場産物を使用したメニューを提供。その都度「ランチタイム」を発行し、食材の紹介を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旬の食材や、それに関する食文化を紹介することで食に関する関心が高まった。</li> </ul>

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan								Do			Check				
		計画の目標				ライフステージ				平成27年度			成果・課題等				
		5つの「食べる」				乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続		実施場所	参加者数 (実施回数)	取組内容 [実績] (対象・実施日・場所・内容等)	
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進												
大久保中学校	家庭科の授業時の置ける生徒作成献立、調理実習		◎			○	○	○					継続	桜区	1年生 (2回)	調理実習は、2、3学期に1回ずつ実施。「カレーライス」と「魚のムニエル」を実施	家庭でも実習した経験を生かし、調理する生徒が増えた。
田島中学校	食育の推進		◎			○	○	○	○				継続	桜区		・授業の単元の中で1日の食事バランスや朝食の重要性を理解する(アンケートの実施) ・標準体重を実際に計算し、生活習慣病との関係をデータから読み取り、食事、運動、休養の実践を促す。 ・給食朝会にて、給食従事者や生産者へ感謝を伝え、残飯ゼロ活動を行う。 ・桜区産の米や野菜を食育の日(19日)に使用し、和食の文化を伝える。	・家庭科や保健体育の授業にて個人個人が課題に取り組み、食に関する知識が高まった。 ・6月、1月に残食0の取り組みを行い、食育の日を中心に地場の米や野菜を取り入れたことにより、給食の残食が3%以下と少なくなり、食に関する感謝の気持ちが高まった。
浦和中学校	家庭科の授業における食育の推進		◎	○		○	○	○					継続	浦和区	1年生	1年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を考えていくつかを実際の給食で提供する。	成長期に必要な栄養の特色を知ること、給食の献立で多く取り入れられている食品の必要性や栄養バランスのとれた食事について理解を深めることができた。
浦和中学校	給食試食会		○	○		○	○	○		○			継続	浦和区	保護者81名	7月に保護者対象の給食試食会を実施し、栄養士による食に関する講話を行った。	保護者の方と、家庭での食生活の様子や、普段の給食時の様子を話すことができ、情報交換のよい機会となった。
浦和中学校	給食週間					○	○	○					継続	浦和区	全校生徒	浦和中給食週間(1月25日～1月30日)の取り組みとして、給食委員を中心にリクエスト給食アンケートの実施・集計結果の発表、調理員への感謝の言葉を書いた色紙の贈呈、残食0作戦、1年生が考えた給食の紹介を給食朝礼で行った。また、給食朝礼で調理員・栄養士より講話を行い、給食室の紹介を行った。	普段見ることができない給食室の仕様の様子や、給食従事者の話を聞くことで、感謝の心を育てるきっかけとなった。
白幡中学校	給食試食会		◎	◎		○	◎	○		○			継続	南区		給食試食会において、栄養教諭から食育に関する講話を実施予定。実際に給食を食べてもらい、給食への理解を深める。	和食で統一した献立にし、おおむね好評をいただいた。また、給食の概要を説明することで、学校給食に対する理解が深まった。
白幡中学校	給食で地場産米を味わおう		◎			○	○	○					継続	南区		月2回、さいたま市岩槻区でとれた地場産米を給食で使用する。白ご飯として給食に出すことにより、米本来の味を味わってもらう。	米のみを使用し、米本来の味を味わうことで、お米そのものの味を味わってもらうことができ、残菜も少なかった。
白幡中学校	体験活動を取り入れた食育の推進		◎	◎		○	◎	○					継続	南区		校内にある学校農園で、ボランティア生徒による野菜の栽培と収穫を行い、その野菜を給食で活用する。	ボランティアの生徒を中心に、きゅうり、だいこんなどの野菜を和え物や汁物に利用し、給食だけでなくお昼の放送で紹介することで、地場産物への理解が深まった。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan							Do			Check				
		計画の目標					ライフステージ		平成27年度			成果・課題等				
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期	取組内容【実績】 (対象・実施日・場所・内容等)		
三食	いっしょ	確かな目	まごころ	食文化	食育の推進						新規/継続	実施場所	参加者数 (実施回数)			
内谷中学校	授業における食育の推進	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	南区	全校 1年390人 3年400人 道徳4学級 保護者126人 地場産物は全校毎月実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒給食委員会における掲示「時間マナーを守った楽しい食事」(1~3年生委員会活動)</li> <li>残菜ゼロ週間(1~3年生給食の時間)</li> <li>牛乳を残さずに飲む啓発運動</li> <li>朝食をしっかりと食べる習慣の確立</li> <li>生徒作成献立の実施(1年生家庭科)</li> <li>3年生総合的な学習の時間での和食文化の継承を視野に入れた授業</li> <li>いのちをいたたく(1,3年生道徳)</li> <li>生活習慣病について(保護者)</li> <li>継続的に地場産物の小松菜を使用する</li> <li>市内産の米を活用した食育の日の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>残さずに食べようという意識や感謝の気持ちをもつことができた</li> <li>朝食の内容を見直して給食の献立を立てることで、フードバランスガイドに沿った料理選択や食品群の摂取の成り立ちが理解できた。</li> <li>和食文化を調べることで日本食と和食の違いに気づき、外国人の方々に「和食文化」を伝えることができた。</li> <li>成長期からの生活習慣病予防の意義を伝えることができた。生徒に直接時間をとって行って行きたい。</li> <li>地場産物の米、野菜のおいしさを実感できることができた。</li> </ul>
東浦和中学校	教科との関連を図る食育の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	新規	緑区	①1学年 ②2学年 ③3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>①対象 1学年 時期 2学期 内容 保健体育で運動と食生活について、外部講師を招いて授業を実施</li> <li>②対象 2学年 時期 2学期 内容 技術・家庭科の授業で簡単に出来る、野菜の調理実習を実施</li> <li>③対象 3学年 時期 2学期 内容 遺伝子組み換え食品について</li> </ul>	①、②、③ともに、教科とタイアップして、生徒に教科担任・栄養士と『食』についてアプローチすることができたので、より、生徒の食への関心が高まった。
東浦和中学校	総合的な学習の時間における『食育』	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	新規	緑区	2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象 2学年</li> <li>時期 2,3学期</li> <li>内容 自分たちの『食生活』について、アンケートなどにより課題を見つけ、調べるとともに、校内で養護教諭・栄養士を交えて課題の解決を見つけて、学校公開で発表。また、地元のシェフを招き『味覚の授業』を実施し。</li> </ul>	自分の課題を見つけることにより、より自分のこととして『食』をとらえることができた。
東浦和中学校	保護者対象調理講習会	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	新規	緑区	30名 (1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象 保護者</li> <li>時期 夏休み</li> <li>内容 生徒の実態・保護者のアンケートより、『野菜たっぷり調理講習会』を、中国料理のシェフに講師を依頼し実施。</li> </ul>	保護者の食に関する意識が高まった

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。



平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check		
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度					
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
東浦中学校	地場産物の活用			○	○	○	◎	○					①継続 ②新規	緑区	生徒・職員	①対象 全校生徒・職員 時期 通年 内容 地域の食材を給食に使用し、給食 便り・食育メモで紹介 ②対象 全校生徒・職員 時期 11月 内容 特別支援学級の生徒が、地域の農 家の方と収穫した『精白米』を給食に使用 し、給食便り・食育メモで紹介	地元の食材を給食に使用すること で自分たちの住んでいる地域 への関心が高まり、生産者への 感謝の気持ちや食材を大切にす る気持ちが高まった。
東浦中学校	給食集会 (自分たちの食に携 わる方々を招いて)			○	○	◎	○						新規	緑区	生徒・職員	①対象 全校生徒・職員 時期 給食週間 内容 給食に食材を納めてくださっている、 生産者の方々と保護の方等、自分た ちの食に携わる人々の話を聞く	自分たちの食に携わる人々の、 話を直接聞くことにより、食材や 家での食事への感謝の気持ちを 意識付けることができた。
美園中学校	世界の料理めぐり (ランチワールド)					○	○			○			継続	緑区	全校生徒 10回	・月1回(3月、8月を除く)、世界の料理を 実施。 ・献立表、放送、給食委員会作成の新聞 (ランチワールド)により献立を説明。	・世界の料理に対して興味・関心 を高めることができた。
美園中学校	読書の日献立					○				○			新規	緑区	全校生徒 1回	・読書の日(10月27日)に、本に出てくる 料理を再現した献立を実施。 ・図書館司書や図書委員会と連携し、新 規の取り組みをアピール。	・給食のみならず、本に対する興 味関心も高めることができた。 ・残食も非常に少なかった。
美園中学校	給食試食会		○		○								継続	緑区	保護者 1回	・栄養士、給食主任より、本校給食につ いて説明を実施。 ・参加者による給食の試食。	・保護者に給食について知って もらう良い機会となった。 ・本校職員と保護者の交流の場 となり、給食に関する意見を直接 聞くことができた。
尾間木中学校	給食委員会における キャンペーン活動	○	○							○			継続	緑区	全校生徒 3回実施	今年度も、前期、後期で給食キャンペ ーンを実施した。牛乳飲み残しゼロ、 残菜ゼロ、片付けがきれいか、食器破 損ゼロに加え、片付けの時間をキャ ンペーン内容に追加して行った。	給食への意識が高まり、残菜の 減少、また、給食の準備が早くな り、食べる時間が確保できるよう になった。 片付けの時間もキャンペーンの 内容に追加したことで、時間を意 識できるようになってきた。
尾間木中学校	給食週間					○	○			○			継続	緑区	全校生徒	今年度も、2月に時期をずらして実施 した。 給食朝礼、給食キャンペーンの他に、 給食調理員との会食を行った。	会食は、給食を作ってもらっている 給食調理員と生徒との接点が 普段はないので、感謝を伝えるい い機会となった。また、給食調理 員も生徒と接することで調理する 意欲につながった。
尾間木中学校	道徳、特別活動、家 庭科 (TTIによる授業)	◎	○	○	○	○	○						継続	緑区	2年生 3年生	今年度も、TTIによる授業を実施した。	道徳、特別活動、家庭科でTTIに よる授業を実施。生徒たちの食 への関心が高まった。 3年生での授業の実施が出来な かったので、全学年で実施してい きたい。

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

平成27年度食育取組状況

平成28年4月現在

担当課所名	事業名	Plan										Do			Check		
		計画の目標					ライフステージ					平成27年度					
		5つの「食べる」					乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期	新規/継続	実施場所	参加者数(実施回数)	取組内容[実績] (対象・実施日・場所・内容等)	成果・課題等
三食	いっしょ	確かな目	まじこ	食文化	食育の推進												
尾間木中学校	食育の日の献立の実施	○	○	○	○		○					継続	緑区	全校生徒11回実施	今年度は、食育の日に世界の料理を実施した。また、給食委員会による昼の放送も引き続き実施することができた。	普段と一味違う給食にふれられるよい機会となった。慣れない献立ではあったが、生徒の関心も高く、残りも少なかった。	
尾間木中学校	給食試食会	○	○		○	○				○		継続	緑区	保護者54名	今年度は、7月に給食試食、食に関する講話を実施した。	保護者の方と生徒の普段の様子を話せるよい機会となった。	
尾間木中学校	7組による体験学習				○	○		○				新規	緑区	年3回 7組生徒 7組教員	5月グリーンピースのさや出し、7月とうもろこしの皮むき、12月くわいの芽とり体験を7組生徒・教員で行った。当日は、そのことを各クラスの担任を通して、全クラスに伝えてもらった。	実際に食材に触れることで、生徒たちはとても興味を興味を示していた。グリーンピースご飯は残りがちな献立であるが、7組の生徒たちは自分たちが作業に関わったことで残さず食べようという意識が生まれた。	
柏陽中学校	給食に関する情報発信	◎				○	○	○	○	○	○	継続	岩槻区	毎月1回	・給食だよりの発行 ・校内掲示板による情報発信 ・学校Webページの「学校給食」の中で、献立、給食だより、産地公表・検査結果の情報を発信 ・行事食や地場産物の活用についての「給食メモ」を給食委員生徒がクラスに伝える。	・生徒、保護者の給食や食育への関心や知識が高まった。 ・家庭へ伝えるべき情報を発信できた。 ・生徒の活動を通して食への関心を高めた。 ・生徒の感謝の心の育成はまだ十分ではないと思われる。	
柏陽中学校	給食試食会		◎			○	○			○	○	継続	岩槻区	年1回	・保護者が給食を試食する機会を設定した。 ・あわせて学校給食の内容や給食室での調理についての紹介を行った。	・保護者への給食への関心を高め、学校給食の内容についても理解を深めることができた。 ・実施後のアンケート結果も好評であった。 ・参加者をさらに増やすことが課題である。	
柏陽中学校	生徒作成献立の実施		○			○	○	○				継続	岩槻区	1学年生徒	・家庭科の授業に栄養士が入りチーム・ティーチングで、献立づくりを行った。地場産物や旬の食材を使用することを条件に入れて行った。 ・生徒がつくった献立を、実際の給食の献立に取り入れた。	・生徒の食への関心や、地域の食材への関心が高まった。 ・生徒の授業への意欲を高めた。 ・栄養士の授業への参加については、さらに学級活動や保健体育に広げていけるか検討していきたい。	
柏陽中学校	地場産物の食材の活用			○	○	○	◎		○			継続	岩槻区	通年 6月強化月間	・地場産物の食材を給食に使用した。 ・給食だよりや給食メモ等で地域の食材や地産地消について生徒や保護者に伝えた。	・地産地消への関心や理解を深めることができた。 ・さらに生産者や調理者への感謝の心を育む働きかけも行いたい。	

◎は重点プロジェクト「共食」「朝食」「協働」の取組が含まれるもの。

## 第2次さいたま市食育推進計画

### 基本理念

- ・食育を通して、心と身体の健康と、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育む
- ・市民、地域、各種団体などと行政が協働し、食育に取り組む

### 食育の目標

さいたま市 5つの「食べる」

さ

「三食しっかり」食べる

- 小目標 (1) 健康な身体をつくる食生活を実践する  
(2) バランスのとれた食事を心がける

い

「いっしょに楽しく」食べる

- 小目標 (1) 家族や仲間と、楽しく、おいしく食べる  
(2) 食を通じてマナーやコミュニケーションを学ぶ

た

「確かな目をもって」食べる

- 小目標 (1) 食の安全についての知識と理解を深める  
(2) 非常時に備えた食の対応力を育てる

ま

「まごころに感謝して」食べる

- 小目標 (1) 食への感謝の気持ち、食べ物を大切にする心を育む

し

「食文化や地の物を伝え合い」食べる

- 小目標 (1) 体験を通して食への関心を高める  
(2) 家庭や地域に根ざした食文化を学び、継承する

**発行：平成 28 年 8 月**  
**さいたま市食育推進協議会**

**さいたま市保健福祉局保健部健康増進課**  
**〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4**  
**TEL:048-829-1294 FAX:048-829-1967**

この冊子は 170 部作成し、1 部あたりの作成費用は、194 円（概算）です。